

第853回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成26年5月14日（水）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎 16階 教育委員会会議室

1 出席点呼

2 開会宣言

3 第852回教育委員会会議録の承認について

4 第853回教育委員会会議録署名委員の指名

5 教育長報告

- (1) 宮城県公立高等学校入学者選抜に係る前期選抜の募集割合について (高校教育課)

6 議 事

- 第1号議案 障害児就学指導審議会委員及び専門委員の人事について (特別支援教育室)
第2号議案 宮城県特別支援教育将来構想審議会委員の人事について (特別支援教育室)
第3号議案 宮城県いじめ防止対策調査委員会委員の人事について (高校教育課)

7 課長報告等

- (1) 高校教育改革の成果等に関する検証「中高一貫教育」に関する答申について (教育企画室)
(2) 平成26年度文部科学省新規指定事業について (高校教育課)
(3) 平成26年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査問題の正答表について (高校教育課)
(4) 羽生結弦選手「金メダルおめでとう」パレード開催結果について (スポーツ健康課)

8 資料（配付のみ）

- (1) 教育庁関連情報一覧について (総務課)
(2) 平成27年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考について (教職員課)
(3) 宮城県美術館特別展「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」について (生涯学習課)
(4) 東北歴史博物館特別展「日本発掘－発掘された日本列島2014－」について (文化財保護課)

9 次回教育委員会の開催日程について

10 閉会宣言

宮城県公立高等学校入学者選抜に係る前期選抜の募集割合について

1 新入試制度についての検証（高等学校入学者選抜審議会）

（1） 検証の観点

- ・旧制度からの変更点の効果
- ・新入試制度の一層の定着に向けての改善の方向性

（2）「宮城県公立高等学校入学者選抜の改善について（提言）」（平成25年11月27日）

- ・「前期選抜と後期選抜の募集割合については、出願状況を踏まえた検討が必要である。」

2 前期選抜の募集割合

学 科	変更後	現行
普通科（コース制を除く）	10～30%	10～20%
専門学科※・総合学科	10～40%	10～30%
専門学科（体育・美術）	10～70%	10～50%

※専門学科：農業，工業，商業，水産，家庭，看護，理数，英語に関する学科，普通科コース制

3 変更の理由

- （1） 各高校が特色ある学校づくりを進めて情報発信することや，中学校における進路指導の成果が，中学生の主体的な進路選択を促し，目的意識が明確で意欲ある生徒の受験につながっている。
- （2） 前期選抜に学力検査を導入したことや各高校が期待する生徒像に沿って定めた出願条件を具体的に示すことで，中学生がこれを目標としてより良い学校生活を送る励みとなっており，その後の学習意欲の喚起につながっている。
- （3） 以上のような制度変更による期待する効果が現れていることから，高等学校入学者選抜審議会の提言を踏まえ，前期選抜の募集割合の上限を引き上げることとする。

4 今後の流れ

- （1） 前期選抜の募集割合の変更は，平成27年度入試から適用する。
- （2） また，今後，各高校ごとに募集割合を定め，7月に発表される組織編制計画に併せて，入学者選抜一覧の中で公表する。

高校教育改革の成果等に関する検証「中高一貫教育」に関する答申について

1 検証の目的

高校教育改革の成果等に関する検証は、高校教育改革を着実に推進し、その実効性を確保していくために、高校教育改革の各種施策・取組の進捗状況や成果・課題について、客観的かつ専門的な見地から検証し、その結果を中長期的な計画の立案に反映させる。

併せて、検証のプロセスと結果を適時・的確に県民に情報提供し、高校教育改革についての県民への説明責任を向上させていくことを目指す。

2 検証の実施主体

県立高等学校将来構想審議会

（外部有識者等15名により構成。内、7名を検証の実務を担当する部会委員とする。）

※県立高等学校将来構想審議会内に高校教育改革検証部会を設置し、部会は必要なデータの特定、分析などの検証の実務を担当する。審議会は、部会の報告を受けて検証結果（教育委員会への答申）を取りまとめる。

3 審議経過

- 平成24年9月の第1回審議会で、「男女共学化」、「全県一学区化」及び「中高一貫教育」の成果と課題の検証と課題解決に向けた方向性について県教育委員会から諮問。
- 平成24年11月の第1回部会以降、定量データの収集・分析を進めるとともに、定量データでは把握しきれない部分については、現地調査を実施し定性データも収集。
- 審議会4回、部会6回の審議を経て、平成26年3月に「中高一貫教育」について県教育委員会に答申。

4 答申の構成

第1章 中高一貫教育の検証に当たって

…高校教育改革の成果等の検証に関する概要について

第2章 中高一貫教育の施策の概要

…制度導入の背景や学校の取組等について

第3章 中高一貫教育に関する検証

…データ分析による現状の把握と考察等について

第4章 中高一貫教育のさらなる充実に向けた提言と今後の方向性

…課題等に関する改善の方向性及び中高一貫教育の今後の方向性

5 今後の対応

課題解決に向けた施策・事業を検討し、毎年度の予算編成や平成27年度に公表予定の新県立高校将来構想第3次実施計画に反映させる。

6 その他

「中高一貫教育」と並行して検証作業を進めてきた「男女共学化」及び「全県一学区化」については、今年度中に答申予定。

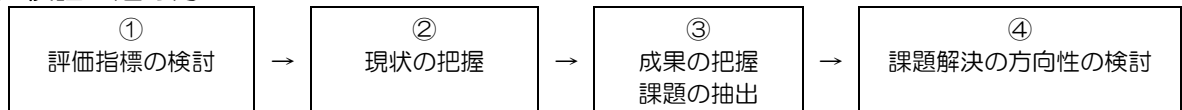
高校教育改革の成果等に関する検証「中高一貫教育について」(答申) 概要版

1 中高一貫教育の検証に当たって

(1) 検証の目的

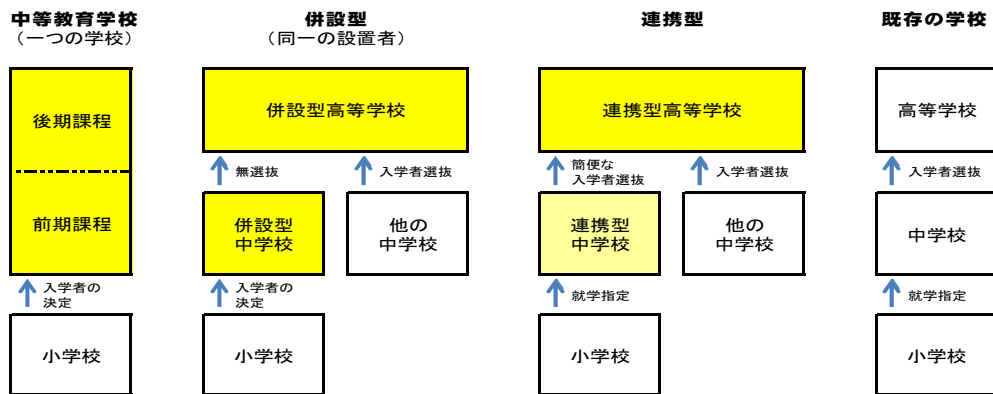
- 高校教育改革の推進
- 高校教育改革に関する県民への説明責任の向上

(2) 検証の進め方



2 中高一貫教育の施策の概要

(1) 中高一貫教育の実施形態



(2) 設置状況 (県立)

設置年度	実施形態	設置者	学校名	設置場所	課程・学科	H25定員	学校の取組
H15	連携型	南三陸町	志津川中学校 戸倉中学校 歌津中学校 入谷中学校(～H21.3)	南三陸町	全日制 普通科 情報ビジネス科	志津川高校 普通科120名 情報ビジネス 科40名	・中高相互乗り入れ授業(英語・数学) ・生徒会交流(生徒会執行部, 図書委員) ・部活動の交流
		宮城県	志津川高等学校				
H17	併設型	宮城県	古川黎明中学校	大崎市	全日制 普通科	中学校105名 高校240名	・週35コマ(45分/コマ)(国, 数, 英, 社, 理等の授業時数の増) ・中高教員の乗り入れ ・中高合同の学校行事, 生徒会活動, 部活動 ・高校の部活動への早期入部 ・海外語学研修(中学校3年生(3月)) ・内進生と外進生は基本的に別クラスで3年間学習する。ただし, 選択科目の履修の際には内進生・外進生の区分けはしていない。平成29年度高2から, 進路の希望に応じたクラス編制(混合)としたい意向。
			古川黎明高等学校				
H22	併設型	宮城県	仙台二華中学校 仙台二華高等学校	仙台市	全日制 普通科	中学校105名 高校240名	・数学において高校の指導内容の一部を中学校へ移行し指導。(数I:2単位分) ・週35コマ(45分/コマ)(国, 数, 英, 社, 理等の授業時数の増) ・中高教員の乗り入れ ・中高合同の学校行事, 生徒会活動, 部活動 ・高校の部活動への早期入部 ・海外研修(中学校3年生(3月), 高校2年生(11月)) ・高1では, 内進生と外進生クラスに分けるが, 高2, 高3では進路の希望に応じたクラス編制(混合)としたい意向。

(備考) 南三陸町立中学校について, 入谷中学校は平成22年度に志津川中学校と統合され, 戸倉中学校についても, 平成26年度から志津川中学校と統合されている。

(3) 宮城県における中高一貫教育の当初の目的

- 学校の選択幅の拡大を図る
- 6年間ゆとりある学校生活の中で, 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす
- 中高を通じて継続的・系統的な指導を行い, 中学校と高校の教育の接続を円滑にする

(出典: 県立高校将来構想(平成13年3月)抜粋)

3 中高一貫教育の現状の把握

◆ 成果

(1) 併設型

- 中学校入学段階における学校の選択幅の拡大
- 高校入試が無く、様々な体験が可能となり、その中で個人の能力が発揮できている
- 中高6年間で学習意欲の向上や学習習慣の定着が図られている
- 概ね異年齢での交流は、生徒の活動意欲が高まり学習活動に効果が見られる
- 大学進学等を見据えて中高一貫教育校を選択した生徒や保護者のニーズに応えつつ、中高6年間で進路について時間をかけて考えられるなどの点でメリットがある

(2) 連携型

- 多くの生徒に対して、中学校と高等学校で継続的な指導が行われている
- 教科指導を中心とした中高連携により、個に応じた丁寧な指導が実施されている
- 日々の指導の中で、高校が中学校に望む学力を示しながら学習動機や学力の向上を図っている
- 中高連携により高校生活をイメージしやすくなり、中学生が安心して高校へ進学できている
- 入学当初の進路希望を達成できている生徒が比較的多い

◆ 課題等

(1) 併設型

- 少子化が進展していくと、年度又は地区によっては地域の中学校の学級減等につながる影響も考えられる
- 内進生と外進生の学習進度や授業理解に関するアンケートの回答状況に違いが見られる
- 中高一貫教育校では正答率の分布が広がる傾向が見られる
- 内進生と外進生※が互いに刺激を受けながら高め合える関係があれば、さらなる学習意欲の向上や部活動等の活性化につながる事が考えられる
- 校種間を越えた教員の連携を行うに当たっての教員の体制に課題が見られる
- 住んでいる地域活動等に参加する生徒の割合が低い

※「内進生」とは、併設型中高一貫教育校において、併設の中学校から高等学校へ進学する者を指し、「外進生」とは併設の中学校以外から高校入試を受けて入学するものを指す。

(2) 連携型

- 地域の子どもが多く進学する連携型では、地域の少子化の進展にともない、学校規模が縮小することが懸念される
- 学習習慣の定着に課題が見られる
- 中学生と高校生の交流は、東日本大震災以降一部の部活動及び生徒会活動にとどまっている
- 中高連携した活動を実施するためには、生徒の移動手段を確保する予算上の措置が必要
- 校種間を越えた教員の連携を行うに当たっての教員の体制に課題が見られる

4 中高一貫教育のさらなる充実に向けた提言

(1) 併設型

学校への提言

- 個に応じた教育の充実
 - ・学校の一体感に配慮しつつ、それぞれの生徒に対応したよりきめ細かな指導の充実
- 生徒間交流の充実
 - ・内進生と外進生を混合クラスにするなどより切磋琢磨できる環境の整備・充実
- 学校外における交流活動の充実
 - ・たくましい人づくりを目指し、ローカルとグローバルの両方において交流活動の充実

教育委員会への提言

- 地域への配慮
 - ・さらに併設型中学校の募集定員を拡大する場合には、長期的な視野を持って、地域の意向にも配慮した上での検討が必要
- 教育体制の充実と教員の資質向上
 - ・中高教員がより一体となって指導できる体制とするための一層の人事上の配慮が必要
 - ・教員研修による教員の資質向上が必要

(2) 連携型

学校への提言

- さらなる中高連携の促進
 - ・連携する中学校と高等学校がより広範囲の活動で交流を持つことが望ましい
 - ・中学校と高等学校が離れた環境にある中で、緊密な連携を図るためにはICTの導入なども考えられ、ICTを活用した連携を検討しながら、さらに中高連携を促進することが重要
- 基礎学力の向上
 - ・連携型中高一貫教育の特徴を生かした学習意欲の向上等の取組を継続的に図ることが必要

教育委員会への提言

- 中高連携の充実に向けた環境の整備
 - ・移動手段を確保する予算上の措置等、中学校と高等学校が交流しやすい環境を整えるため教育委員会の一層の支援が必要
- 連携型中高一貫教育のための教育体制の充実
 - ・より充実した連携型中高一貫教育校とするための人事上の配慮が必要
 - ・ICTの導入に当たっては、設備の充実と併せて、それを活用する教員の知識や技術の習得に向けた教育委員会の支援が必要

(3) 宮城県における中高一貫教育の今後の方向性

- 宮城県の中高一貫教育については、当面は国の議論を注視しながら、今回指摘された課題に取り組み、既存の設置校の教育内容の充実を図ることが肝要であり、その上で、将来あるべき中高一貫教育について長期的視野に立った検討を行うことが必要
- 中学校と高等学校の連携がこれまで以上に重要になっている中で、中高一貫教育校以外の学校でも、中高一貫教育の取組を参考にしながら、様々な面で連携の促進に取り組むことが必要

平成26年度文部科学省新規指定事業について

1 文部科学省指定事業

- 文部科学省では、将来を担う次世代の育成を目指すため、教育振興基本計画に基づき、キャリア教育・職業教育の充実やグローバル人材の育成、科学技術を担う人材の育成等の施策を重点化、特に重点的・先導的な取組を進める高校を全国から指定し、カリキュラムの開発や実践、体制整備を進めている。
- 平成26年度の新規指定として、本県からは、「スーパープロフェッショナルハイスクール」、「スーパーグローバルハイスクール」の各1校が指定された。

2 スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）事業【予算総額 84,000 千円】

- （1）目的：専門高校において、大学・研究機関・企業等との連携の強化等により、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身につけ、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成する。
- （2）指定期間：3年間
- （3）平成26年度指定校：宮城県農業高等学校など10校（全国から）

3 スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業【予算総額 806,514 千円】

- （1）目的：社会に対する関心と深い教養，コミュニケーション能力，問題解決力等の素養を身に付け，もって，将来，国際的に活躍できるグローバル人材を育成する。
- （2）指定期間：5年間
- （3）平成26年度指定校：仙台二華中学校・高等学校など56校（全国から）

「日本最古の農業高校 震災・津波からの復活の取り組み！」 ～次代を担う、志・知・技を持った就農者育成プログラムの構築～

地域を担う就農者の育成に向けて

自営就農
農業大学校への進学
農業法人への就職

7%
(H25年度
卒業生)

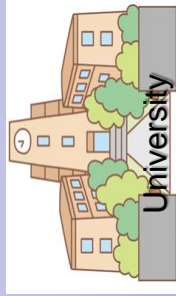
20%
(H28年度
卒業生)

- 志：復興に寄与する高い志を持った就農者
- 知：次代を担う、グローバルな視点を持った就農者
- 技：高度な知識・技術を持つ専門的職業人



【連携先】

農家，農業法人，
大学，農業大学校，
企業，究機関，地域の
産業界等



連携
・
協力

主な取組(学習プログラム)

- ・地域の食材を使った商品開発とブランド化
- ・ICTを活用したスマート農業への取組
- ・自然エネルギーを活用した次世代型農業への取組
- ・観光農園，体験型農業の実践
- ・被災克服へ向けた基礎研究
- ・伝統野菜「仙台白菜」の復活と消費拡大への取組
- ・農業を通じた地域貢献活動(東北コトプロジェクト、復興桜プロジェクト等)

対応

農業の魅力発信

地域の小中学
生や住民、地
域の産業界へ
農業と農業高
校の魅力を発
信
(HP, 成果報
告会, 各種大会等)

ネットワークの構築

農業高校と地
域の農家・農
業法人、産業
界等とのネッ
トワークの構
築

研究課題

学科の特徴を生かした、魅力ある農業モデル
の学習プログラムを構築，復興の支えとなる実
践力(志・知・技)を備えた就農者を育成する。

- ・6次産業化等の
次世代型農業へ
の対応
- ・教員の指導力と
資質の向上

農業の重要性和魅
力を発信し、地域を
担う、次代を担う就
農者を育成する。

【背景】

東日本大震災からの復興 農業技術の高度化 産業・就業構造の変化 就農者の不足 産学官による協働教育の推進

(研究開発テーマ)北上川・メコン川をフィールドとした「世界の水問題解決への取組」
 ~社会に対する関心と深い教養・コミュニケーション能力・問題解決力を備えたグローバル人材の育成~

グローバル人材に求められる資質・能力

今日的なテーマ(社会課題)に係る課題研究を通じ、広く社会に目を向け、深い教養, コミュニケーション能力, 問題解決力等を身に着け, もって, 将来, 国内外で活躍できるグローバル人材を育成する。

深い教養: 日本人としてのアイデンティティと広い視野に立って培われる教養
 現代社会を生きる地球市民としての「適切な世界観」

コミュニケーション能力: 異なる言語, 文化を乗り越えて関係を構築する能力
 多様な人びとの意見を聞き, 自分の考えや立場を「相対化する力・共感する力」

問題解決力: 問題の原因や構造の「本質を見抜き, 新しい価値を創造する力」
 人間や社会の理想的なあるべき姿を具現化する「構想力」

【研究概要】

「世界の水問題」を「人間」, 「経済」, 「環境」の三つの視点から調査・研究し, 実際に水問題を解決する方法を探索, その成果を発信する。

- ・人間…自然との共生, 人権, 貧困
- ・経済…資源, エネルギー
- ・環境…災害, 環境破壊, 防災

また, 現実には, 世界が直面する深刻な社会問題の解決に正面から取組むこと, 水問題を抱える世界の現場で, 困難を抱えている人々との直接の対話を踏まえ, て深く考察を重ねること, 多様な人びとと様々な言語活動を行うことで, グローバル人材に必要な資質・能力の育成を図る。

深い教養, コミュニケーション能力, 問題解決力

主な取組

- ・課題研究(調査研究, 国内外でのフィールドワーク)
- ・言語活動(ブレゼン・デイベート, 模擬国連・国際会議参加, 留学生・姉妹校交流)

ネットワークの構築と協働教育

大学: 東北大学, 東北工業大学等の国内外大学

国内外の研究機関等:
 JICA, UNESCO

国内外の高校: SGH, SH等指定校, 姉妹校等

その他:

東京大学, 京都大学, 東北大学などの留学生, 大学院

連携

協力

【背景】

東日本大震災からの復興 社会環境の変化(急速なグローバル化) 産学官による協働教育の推進 グローバル人材の育成

平成26年度宮城県公立高等学校入学者選抜 学力検査問題の正答表について

宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査における県教育委員会で作成した正答表の記載について、外部からの指摘により不備が判明したものを。

1 正答表に不備のあった教科

社会（後期選抜）

2 後期選抜の実施日

平成26年3月6日（木）

3 受験者数

13,947名

4 外部からの指摘の内容

県外で使用されている教科書の中に関連の記載があり、これについても正答例として加えておくべきではないかというもの。

※ 本県における正答表の取扱

- ・ 県内で使用されているすべての教科書を点検し、正答として示したもののほかに正答として扱えるものがある場合は、その旨を備考欄に記載している。
- ・ 正答表で示したものの以外にも正答として扱えるものがある場合には、各検査場ごとに基準を定め取扱う。

5 教育委員会の対応

（1）指摘事項の確認

→ 他県で使用されている教科書の中に関連の記載を確認

（2）社会科の全ての答案の該当箇所を点検

→ 30校67名の受験者が指摘を受けた用語で解答
うち27校60名が不正解

（3）合否結果への影響の確認

不正解となっていた60名について、当該問題の配点（3点）を加点した場合に合否結果に影響を及ぼすかを確認

→ 全員の合否結果に変更が生じないことを確認

6 再発防止に向けて

- ・ 県境隣接協定等による他県からの受験者がいる状況等を踏まえれば、他県で使用されている教科書についても詳細に確認し、正答例に加えておくことがより望ましいことであった。
- ・ 正答表作成に当たっては、県内・県外を問わず全ての教科書の確認を徹底するなど、検査問題及び正答表の作成に万全を期し再発の防止に努めていく。

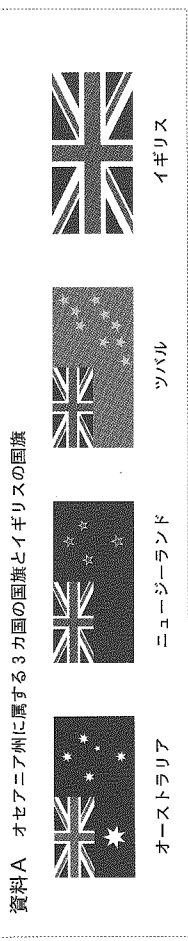
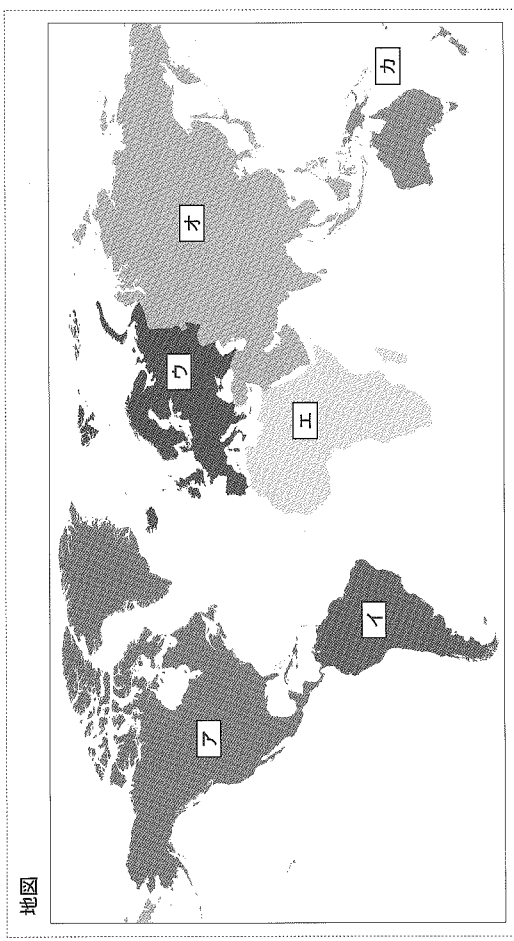
平成26 後期 (3) 社会 正答表

満点 100点

問題番号		正 答	配 点	備 考	
第一問	1	(1) 中京工業地帯	3	20	
		(2) ア	3		
	2	(例) 冬は積雪が多いため農作業が難しく、地域の原材料を活用する技術が受けつがれたから。	4		
	3	(1) エ	3		
		(2)	① エ		3
			② (例) 人口が多く経済発展が期待できる地域に、市場の拡大を求める		4
第二問		1	イ → ア → ウ	4	20
	2	(1) エ	3		
		(2) ウ	3		
		(3) (例) 幕領	3		
	(4)	① 琉球王国	3		
		② (例) 近代的な産業を育成し、軍備を増強する	4		
第三問	1	(1) ア	3	20	
		(2) イ	3		
	2	イ	3		
	3	司法制度改革	4		
	4	(1) イ	3		
		(2) (例) パッケージの注意書きを大きく分かりやすくして、消費者に適切な使用方法を知らせるとともに、たてにすえ付けても使用可能にするなど、製品の安全性を高めるように改善する。	4		
第四問	1	自由民権運動	3	20	
	2	ウ	3		
	3	(例) 選挙権が与えられる年齢が25歳から20歳に引き下げられ、かつ女性も選挙権を得たから。	4		
	4	参政権	3		
	5	(1) (例) 3回にわたる投票率の推移も、最近の選挙に対する関心度も、年齢が若くなるにつれて、低くなっている。	3		
		(2) (例) 投票は、自分の考えを示す機会なので、棄権が多いと、一部の人たちによって、政治の大切なことが決められてしまうという問題がある。	4		
第五問	1	カ	3	20	
	2	(1) (例) 植民地	3		
		(2) ウ	3		
	3	(1) (例) 工業化が進展し、大量の原材料が必要となった	4		
		(2) 地域主義	3		
		(3) (例) 地域的な経済協力だけでなく、環境、食糧などの問題についても、積極的に協力して取り組もうと変化している。	4		
				「リージョナリズム」も可とする。	

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

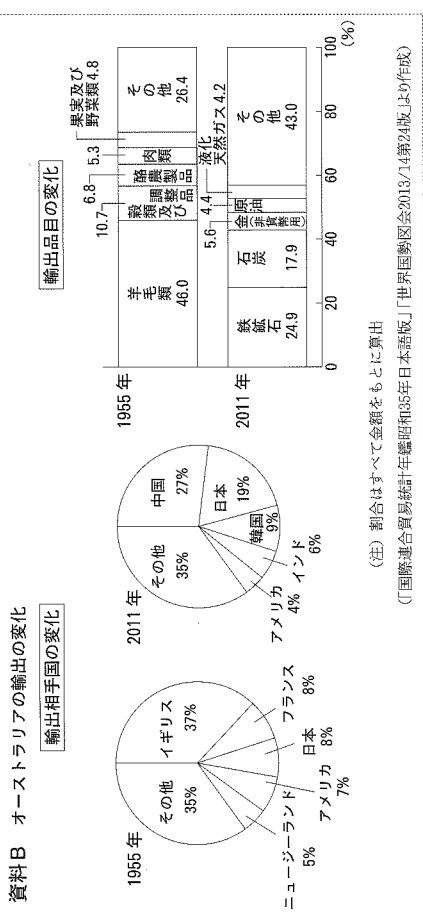
第五問 啓太さんは、社会科の課題研究で、「オセアニア州」について発表するために、世界の州区分を示す地図を用意し、資料Aと発表原稿1を作成しました。あとの1～3の問いに答えなさい。



発表原稿1
 資料Aをみると、オセアニア州に属する3カ国の国旗には、イギリスの国旗と共通するデザインがみられます。これは、この州に属する多くの国が、かつてイギリスのXとして強い影響下に置かれたこととかわわっています。そして1930年代には、イギリスと関係の深い国々の間で貿易が成り立たせようとする、ブロック経済に組み込まれることになりました。

- 1 地図の州区分で、オセアニア州は、どこに位置しますか。ア～カから1つ選び、記号で答えなさい。
- 2 発表原稿1について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
 - (1) Xにあてはまる適切な語句を書きなさい。
 - (2) 下線部について、イギリスがブロック経済を進めた理由として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 - ア ドイツ、イタリヤ、日本が結成した日独伊三国同盟に対抗しようとしたから。
 - イ 産業革命に成功し、大量生産された綿布を輸出する市場を広げようとしたから。
 - ウ ニューヨークの株価大暴落をきっかけとする世界恐慌を乗り切ろうとしたから。
 - エ フランス革命が起こり、革命の影響が目国にまで拡大することを恐れたから。

3 啓太さんは、オセアニア州の国々のなかで、貿易輸出額の最も大きいオーストラリアをとりあげて、資料Bと発表原稿2を作成しました。あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。



発表原稿2
 資料Bをみると、オーストラリアの輸出は、1955年には、イギリスを最大の相手国とし、品目の割合では、羊毛類が半分近くを占めていましたが、2011年には、相手国、品目ともに内容が大きく変化しています。理由として、輸出額で上位を占めるアジア州の国々では、Yのために、鉄鉱石や石炭などの需要が増加したということが考えられます。

- (1) Yには、オーストラリアの輸出に影響を及ぼした、アジア州の国々の変化を述べた文が入ります。あてはまる内容を考えて、簡潔に述べなさい。
- (2) オーストラリアは、APEC（アジア太平洋経済協力会議）を提唱したことでも知られています。APECのように、政治や経済などの分野で同じ問題をかかえている国などが、ある特定の地域でまとまりをつくり、協調や協力を強めようとする動きを何というか、書きなさい。
- (3) 啓太さんは、APECの取り組みについて調べたところ、発足後まもない1994年に出された首脳宣言と、最近出された首脳宣言の間には、変化がみられることに気づき、資料Cを用意しました。資料Cの2つの首脳宣言の比較をもとに、APECの取り組みが、どのように変化してきているのか、簡潔に述べなさい。

資料C APECの首脳宣言について

1994年首脳宣言の一部

- 開放的な多角的貿易体制を強化する。
- アジア太平洋における貿易及び投資の自由化を促進する。
- アジア太平洋における開発協力を強化する。

2011年首脳宣言の一部

- 地域経済統合の強化及び貿易の拡大を図る。
- 世界的な低炭素経済（二酸化炭素排出量の少ない経済活動）への移行を加速化することにより、地域の経済的及び環境的課題に取り組む。
- 世界食品安全基金の支援を通じて、食品安全制度を強化し、食品貿易を円滑化する。

(外務省 APECに関するホームページより作成)

羽生結弦選手「金メダルおめでとう」パレード開催結果について

ソチオリンピックで金メダルを獲得した羽生結弦選手の功績を讃えて、宮城県・仙台市・スケート連盟が組織した実行委員会が主体となり『羽生結弦選手「金メダルおめでとう」パレード』を実施した。

1 開催日時・場所

平成26年4月26日(土)

- | | | | |
|------------|--------|--------|-----------|
| (1) スタート | 13時35分 | 東二番丁通り | みずほ銀行前 |
| (2) フィニッシュ | 14時00分 | 〃 | 仙台市役所前交差点 |

2 沿道観衆者数

約92,000人（実行委員会発表）

3 パレードの状況及び結果

当日は、県警や関係機関の協力のもと、大きなトラブルもなく無事盛大に開催された。観客は、スタート地点からフィニッシュの地点まで、両サイドに万遍なく集まっていたが、警備員やボランティアなどの周辺スタッフの的確な誘導等により、パレードスタート時点の隊列の整列も滞りなく行われ、コース途中も多くの観客のマナー良い歓迎の中、遅滞なく進んだ。

パレードに先がけて実施した出発式において、村井知事から県民栄誉賞、安藤県議会議長から県議会議長特別表彰を授与した。また、羽生選手から宮城県と仙台市それぞれに対して義援金の贈呈があった。

教育庁関連情報一覧（平成26年4月15日～平成26年5月13日）

NO.	概 要
1	<p>○『みやぎ高校生春のマナーアップ・キャンペーン』を開催</p> <p>J R 東日本と連携し、仙台市交通局、宮城交通等の協力のもと、高校生が駅や車内において乗車マナーの向上を図るためのキャンペーンを実施した。</p> <p>【概要】</p> <p>日 程 4月15日（火）～4月18日（金）</p> <p>場 所 ①オープニングセレモニー</p> <p>4月16日（水）7：30～7：40 J R 仙台駅構内ステンドグラス前</p> <p>②呼びかけ運動（利用者への呼びかけ（構内放送，車内放送を含む）とティッシュの配布）</p> <p>4月15日（火）J R 利府駅</p> <p>4月16日（水）J R 仙台駅を含め仙台，県南地区の J R 18 駅</p> <p>4月17日（木）J R 仙台駅を含め仙台，県南地区の J R 14 駅</p> <p>4月18日（金）J R 福田町駅</p> <p style="text-align: right;">（担当：高校教育課）</p>
2	<p>○第22普通科連隊銃剣道錬成隊が第58回全日本銃剣道優勝大会（防衛省第1部）で優勝</p> <p>「第58回全日本銃剣道優勝大会」（防衛省第1部）で13年ぶり3回目の優勝を果たした第22普通科連隊銃剣道錬成隊の選手及び関係者が、5月8日（木）に県を表敬訪問した。</p> <p>【概要】</p> <p>大会名 第58回全日本銃剣道優勝大会</p> <p>日 程 平成26年4月20日（日）</p> <p>場 所 日本武道館</p> <p>出場チーム 62チーム（防衛省第1部）</p> <p style="text-align: right;">（担当：スポーツ健康課）</p>



NO.	概 要
3	<p>○ケネディ大使 仙台二華中学校・高等学校で生徒と交流</p> <p>仙台二華中・高が今年度から文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール」に指定されたのを踏まえ、キャロライン・ケネディ米駐日大使が息子のジョンさんと共に当校を訪問、3月に米国デラウェア州を訪れた高校2・3年の生徒20名と英語で懇談した。その後、文化交流として餅つきを体験、宮城県特産のずんだ餅を味わった。</p> <p>【概要】</p> <p>日 時： 5月13日（火） 午後1時25分より1時間</p> <p>場 所： 仙台二華中学校・高等学校 大会議室（生徒との英語による懇談） 調理室（餅つき体験）</p>  <p style="text-align: right;">(担当：高校教育課)</p>
4	<p>○2014年「EUがあなたの学校にやってくる」講演会を開催</p> <p>駐日欧州連合を代表して、駐日ブルガリア共和国大使館から外交官が仙台第三高等学校に来校し、EU（欧州連合）とブルガリア共和国について講演を行った。</p> <p>【概要】</p> <p>日 程 5月12日（月）</p> <p>場 所 宮城県仙台第三高等学校 体育館</p> <p>参加生徒 全校生徒（964名）</p> <p>講演者名 ゲオルギ・ヴァシレフ大使（Mr. GEORGI VASSILEV）</p> <p>演 題 「欧州連合とブルガリアについて」</p>  <p style="text-align: right;">(担当：高校教育課)</p>

平成27年度 宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考について

出願受付

- 4月23日（水）～5月20日（火） 原則として電子申請

第1次選考

- 7月26日（土） 日程： 午前 適性検査、筆記試験1（専門教養）
午後 筆記試験2（教職教養または小論文）、集団面接
場所： 仙台三高，仙台二華中高，仙台三桜高，工業・第二工業高，
東京海洋大学品川キャンパス
- 7月27日（日） 日程： 実技試験，集団面接
場所： 荒町小，長町南小，旭丘小，富沢小，仙台二高
- 8月29日（金） 第1次選考結果発表

第2次選考

- 9月12日（金）・13日（土）または9月15日（月）・16日（火）のいずれか
場所： 調整中
内容： 模擬授業，個人面接1，個人面接2，実技試験
- 10月29日（水） 第2次選考結果発表

今年度の特徴及び改善点

- ① 過去10年間で最大規模、昨年より50名多い600名程度を採用予定
小学校280名程度，中学校200名程度，高等学校100名程度，
養護教諭20名程度，栄養教諭（A若干名・B若干名）
- ② 優れた資質を持つ教員の確保のため，大学院修士課程進学者及び在学者の採用名簿登載者で希望する者には，専修免許状の取得を条件に，大学院修了まで名簿登載を猶予することとした。
- ③ 第1次選考において教職教養を小論文に替えて出願できる講師等経験者の資格要件のうち，常勤講師の経験と非常勤講師（1週あたりの勤務時間が29時間以上）の経験を通算できることとした。
- ④ 第2次選考の日程を緩和するために，これまで第2次選考で実施してきた適性検査を第1次選考で実施することとした。
- ⑤ 引き続き実施するもの
 - ・ 障害者特別選考の実施
 - ・ 東京会場においては，実技試験のある校種・教科以外の試験を行う。
 - ・ 特別支援学校を第一希望とする場合に，採用願書に希望を記載する。

平成27年度宮城県・仙台市公立学校 教員採用候補者選考要項

宮城県教育委員会
仙台市教育委員会

- 【受付期間】 平成26年4月23日（水）～平成26年5月20日（火）
- 【出願方法】 原則としてインターネットによる電子申請
- 【第1次選考】 平成26年7月26日（土）・27日（日）
- 【第2次選考】 平成26年9月12日（金）・13日（土）または9月15日（月）・16日（火）

平成27年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考（以下、「選考」という。）は、宮城県教育委員会と仙台市教育委員会が共同で次のとおり実施する。

I 採用校種・職種・教科等・採用予定者数

採用校種・職種・教科等・採用予定者数については下記のとおりとする。

採用校種・職種	教科（科目）等	留意事項等	採用予定者数
小 小学校教諭		① ②	280人程度
中 中学校教諭	国語，社会，数学，理科，技術，英語	① ②	中学校教諭 200人程度
中・高 中学校教諭・高等学校教諭	保健体育，音楽，美術，家庭	① ② ③	高等学校教諭 100人程度
高 高等学校教諭	国語，公民，地理歴史（日本史，世界史，地理），数学，理科（物理，化学，生物，地学），農業，水産（機関係），工業（機械，電気・電子，建築） 商業，英語，看護，福祉	① ②	
養護 養護教諭		① ② ④	20人程度
栄養 栄養教諭	栄養教諭A（宮城県・仙台市内で勤務する県費負担栄養職員）	① ② ⑤	若干名
	栄養教諭B（栄養教諭A以外の者）		若干名

* 高等学校教諭の工業（土木，工業化学），情報，理療は募集を行わない。

* 採用予定者数は，平成26年4月18日現在の見込数であり，実際の採用数とは異なる。

【留意事項等】

- ① 「教諭」には，日本国籍を有しない者が任用される「期限を付さない講師（常勤）」が含まれる。
- ② 特別支援学校への採用を希望する場合でも，**小**（小学校教諭），**中**（中学校教諭），**中・高**（中学校教諭・高等学校教諭），**高**（高等学校教諭），**養護**（養護教諭），**栄養**（栄養教諭）のいずれかを選び出願すること。
また，特別支援学校への採用を**第一希望とする場合**は，出願の際，採用願書の所定の欄に，採用希望「有」と入力（書面による申請の場合は「有」と記入）すること。ただし，第一希望とした場合でも，特別支援学校で採用されるとは限らない。
- ③ 中学校教諭・高等学校教諭の保健体育，音楽，美術，家庭については，中学校，高等学校の区別なく一括しての採用となる。

- ④ 養護教諭については、校種の区別なく一括しての採用となる。
- ⑤ 栄養教諭については、A・Bいずれの出願者も採用後の配置については県内の義務教育諸学校又は特別支援学校となる。（なお、宮城県内・仙台市内で勤務する県費負担栄養職員は栄養教諭Aへ、それ以外は栄養教諭Bへ出願すること。また、栄養教諭Aの出願者は「人物証明書」の提出を必須とする。「人物証明書」は、「人物証明書の記入・提出について」にしたがって記入し提出すること。）

II 選考種別 ・ 出願資格 ・ 選考内容

1 選考種別

選考においては、採用校種ごとに以下の選考種別がある。

- (1) 一般選考
- (2) 教職経験者特別選考
- (3) 障害者特別選考

2 出願資格

A 高等学校の看護及び水産を除くすべての校種・職種・教科等

下記の要件（1）、（2）をともに満たしている者。

- (1) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者。
- (2) 平成27年4月1日現在有効である志願する採用校種及び職種別の教育職員普通免許状（小学校教諭、中学校教諭、養護教諭及び栄養教諭は、専修、一種又は二種免許状のいずれか、高等学校教諭は専修又は一種免許状のいずれか）を所有している者又は平成27年3月31日までに取得見込みの者。

B 高等学校看護

A（1）に加え、すべての選考種別において、次のア、イのいずれかの要件を満たしている者。

- ア 平成27年4月1日現在有効である高等学校教諭看護の専修又は一種の普通免許状を有している者又は平成27年3月31日までに取得見込みの者。
- イ 看護師、保健師、又は助産師の免許証を有し、看護師、保健師、又は助産師として、出願の時点で原則として5年以上業務に従事した経験^(注1)を持ち、教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者で、特別免許状^(注2)取得の意志を有する者。

(注1) 業務経験が5年未満の者で、これまでの経歴が高い学識経験を有すると認められる者に対して、出願を認める場合があるので、該当者は出願前に必ず宮城県教育庁教職員課担当（022-211-3637）に問い合わせること。

(注2) 特別免許状は、教育職員免許法第5条第3項、第4項に基づき、教育職員検定に合格した者に授与される。（教育職員検定は書類審査により行う。）

出願にあたっては、III 出願方法・提出書類 の2 提出書類 の(注4)「特別免許状取得要件に関する書類の提出について」によること。上記イにより出願し、名簿登載された者は、速やかに宮城県教育委員会に対し特別免許状の申請手続きをすることとする。申請の際の提出書類は、別紙「特別免許状申請に関する提出書類について」を参照すること。手続きにかかる費用は自己負担とする。なお、検定の結果不合格となった場合には、名簿登載を取り消す。

C 高等学校水産

A（1）に加え、すべての選考種別において、次のア、イの要件をともに満たしている者。

- ア 平成27年4月1日現在有効である高等学校教諭水産又は商船の専修又は一種の普通免許状を有している者、又は平成27年3月31日までに取得見込みの者。
- イ 船舶職員及び小型船舶操縦者法に定める3級以上の海技士資格（機関）を有している者、又は平成27年3月31日までに取得見込みの者。

3 選考内容

すべての選考種別において、第1次選考・第2次選考を実施する。

(1) 一般選考

1) 出願要件

Ⅱ-2に定める出願資格を満たしている者。

2) 選考内容

第1次選考	<ul style="list-style-type: none">・筆記試験1 (専門教養)・筆記試験2 (教職教養又は小論文)・実技試験 (小学校, 中・高保健体育, 中・高音楽, 中・高美術)・適性検査
--------------	---

* 第2次選考は第1次選考合格者についてのみ行う。

第2次選考	<ul style="list-style-type: none">・模擬授業・個人面接1・2・実技試験 (小学校, 中学校英語, 中・高家庭, 高等学校英語, 高等学校福祉)
--------------	--

下記ア～エのいずれかに該当する者は、第1次選考の筆記試験2において、「教職教養」を「小論文」に替えて出願することができる。

ア 民間企業等現職者

出願時において、民間企業又は官公庁等（以下「事業所等」という。）の常勤の正規職員（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教育職を除く）であり、平成26年4月1日現在において、5年以上継続して同一事業所等（系列事業所も含む）に正規職員として勤務している者。

イ JICAボランティア経験者

JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業において、「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」として、平成16年4月1日から平成26年3月31日までの10年間に於いて、通算2年以上の派遣経験を有する者。（短期ボランティアは除く。）

ウ 教育職現職者

出願時に、学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭のいずれかに就いている者。又は、出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校において、実習助手、寄宿舎指導員のいずれかに就いている者。

エ 講師等経験者

出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校において、講師等^(注1)の職（常勤講師、非常勤講師、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手、代替寄宿舎指導員）に就いており、下記の①～②のいずれかに該当する者。

- ① 平成23年4月1日から平成26年5月20日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭、代替栄養教諭、又は非常勤講師（1週あたりの勤務時間が29時間以上）としての経験が通算12月以上ある者。
- ② 平成23年4月1日から平成26年5月20日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での非常勤講師で、年度を通して任用（長期休業期間を除いた1年間）があり、1週あたりの授業時間が単位時間あたり（45分）の授業で10コマ以上（1週あたり450分以上）の非常勤講師として経験がある者。なお、複数校で同時に年度を通して任用がある非常勤講師で、各々の勤務校での授業時間を合算して1週あたり450分以上となる者も含む。

<例>単位時間50分の授業であれば9コマ以上(50分×9コマ=450分)、65分の授業であれば7コマ以上(65分×7コマ=455分)となる。

(注1) 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小学校・中学校で臨時的任用をしている教育職員(採用条件として教員免許の所有を定め、勤務時間が1週あたり38時間45分以上の者)を含む。また、非常勤講師については、採用条件として教員免許の所有を定めているものとする。

【留意事項等】

JICA ボランティア経験者、教育職現職者、講師等経験者の該当者が、第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えて出願する場合、教育職現職者及び講師経験者の該当者については「勤務証明書」、JICA ボランティア経験者の該当者については「派遣証明書」を、必ず提出すること。民間企業等現職者の該当者については、出願時の「在職証明書」の提出は不要とする。

* JICA ボランティア経験者の「派遣証明書」は、JICA に申請を行い取得すること。

* 教育職現職者及び講師等経験者の「勤務証明書」は、「勤務証明書の記入・提出について」にしたがって記入し提出すること。

3)採用校種・職種・教科等

小 (小学校教諭)、**中** (中学校教諭)、**中・高** (中学校教諭・高等学校教諭)、**高** (高等学校教諭)、**養護** (養護教諭) 又は **栄養** (栄養教諭) のいずれかとする。

4)採用予定者数

「I 採用校種・職種・教科等・採用予定者数」で示したとおりとする。

(2) 教職経験者特別選考

1)出願要件

II-2に定める出願資格を満たし、かつ、次の出願要件①、②のうち、いずれかに該当する者。

なお、「教職経験者特別選考」の対象者であっても「一般選考」に出願は可能であるが、「一般選考」と「教職経験者特別選考」に同時に出願することはできない。

選考種別	出 願 要 件
教職経験者特別選考	①出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師 ^(注1) 、非常勤講師 ^(注1) 、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員に就いており、平成21年4月1日から平成26年5月20日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者。 (注1) 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小・中学校で臨時的任用をしている教育職員(採用条件として教員免許の所有を定め、勤務時間が1週あたり38時間45分以上の者)を含む。また、非常勤講師については、採用条件として教員免許の所有を定めているものとする。
	②出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上就いている者。

2)選考内容

第1次選考	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験1(専門教養) ・集団面接 ・実技試験(小学校, 中・高保健体育, 中・高音楽, 中・高美術) ・適性検査
-------	---

* 第2次選考は第1次選考合格者についてのみ行う。

第2次選考	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業 ・個人面接1・2 ・実技試験(小学校, 中学校英語, 中・高家庭, 高等学校英語, 高等学校福祉)
-------	---

3)採用校種・職種・教科等

小 (小学校教諭)、**中** (中学校教諭)、**中・高** (中学校教諭・高等学校教諭)、**高** (高等学校教諭)、**養護** (養護教諭) 又は **栄養** (栄養教諭B) のいずれかとする。

4)採用予定者数

一般選考採用予定者数に含める。なお、第1次選考の合格者の数については、一般選考と教職経験者特別選考の受験者数に応じて決定することを原則とする。

5)出願手続き上の注意

出願にあたっては、「**人物証明書**」を必ず提出すること。「人物証明書」は、「人物証明書の記入・提出について」にしたがって記入し提出すること。

(3) 障害者特別選考

1)出願要件

Ⅱ-2に定める出願資格を満たし、かつ、次の出願要件①、②をともに満たしている者。

なお、「障害者特別選考」の対象者であっても「一般選考」に出願は可能であるが、「一般選考」と「障害者特別選考」に同時に出願することはできない。

選考種別	出 願 要 件
障害者特別選考	① 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者。 ② 自力による通勤及び職務遂行が可能な者。

2)選考内容

- ・ 選考は原則として一般選考と同様に行うが、「**配慮事項申出書**」を提出することにより、障害の種類や程度に応じて、実技試験の一部免除等を行う。
- ・ 試験における具体的な配慮事項については教職員課担当者が受験者と直接相談の上決定する。

<第1次選考試験における配慮例>

点字受験	◇試験問題の点字による出題 ◇試験時間の延長
手話受験	◇監督員に手話のできる者を配置し、指示事項を手話や書面により伝達 ◇補聴器等の聴覚補助具の使用
拡大文字受験	◇試験問題の文字の拡大 ◇試験時間の延長 ◇ルーペ等の視覚補助具の使用
車椅子受験	◇車椅子での入退場ができる受験教室の用意 ◇受験教室が車椅子用トイレに近接するように留意

3)採用校種・職種・教科等

一般選考と同様とする。

4)採用予定者数

若干名とする。

5)出願手続き上の注意

出願にあたっては、「身体障害者手帳の写し」を必ず提出すること。また、受験上何らかの配慮を必要とする場合には「**配慮事項申出書**」を提出すること。

Ⅲ 出願方法・提出書類

1 出願方法

出願は、原則として「電子申請」とする。

申請にあたってはWeb ページ上の「電子申請マニュアル」等を参照し、正確に入力すること。

(1) 受付期間 : 平成26年4月23日(水) 午後1時～平成26年5月20日(火) 午後5時
(電子申請は平成26年5月20日(火) 午後5時までに完了すること。)

(2) アクセス先 : 宮城県教育庁教職員課 (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)

(3) その他 : パソコン操作や電子申請が困難な場合は、「書面による申請」も可とするので宮城県教育庁教職員課(022-211-3637)へ問い合わせの上、提出書類を簡易書留で郵送すること。(提出締切平成26年5月20日(火) 消印有効。なお郵送以外は受け付けない。)

2 提出書類 (※印については、該当者のみ提出すること)

時期	提出する書類等	注意事項
出 願 時	①採用願書	→原則として電子申請とする。
	②履歴書(様式第6号)	→電子申請の際に履歴書を添付して申請すること。
	③身体障害者手帳の写し※	→障害者特別選考の場合のみ、郵送により宮城県教育庁教職員課へ提出すること。提出の締切については 平成26年5月20日(火)(当日消印有効) とする。
	④配慮事項申出書(障害者特別選考)※	→点字による受験、実技の一部免除等、受験上何らかの配慮を必要とする場合に提出すること。(注1)
	⑤人物証明書※	→ 教職経験者特別選考 及び 栄養教諭A の出願者は必ず提出すること。(注1)(注2)
	⑥勤務証明書※	→一般選考において、 教育職現職者 及び 講師等経験者 に該当する者が、 教職教養を小論文に替えて出願する場合は必ず提出すること。 (注1)(注2)
	⑦派遣証明書※	→一般選考において、 JICAボランティア経験者 に該当する者が、 教職教養を小論文に替えて出願する場合は必ず提出すること。 (注3)
	⑧配慮事項申出書(一般選考)※	→選考会場において車椅子の使用を希望する場合等、何らかの配慮を必要とする場合に提出すること。(注1)
	⑨特別免許状取得要件に関する書類※	→高等学校看護に出願する者のうち、特別免許状を取得する必要がある場合に提出すること。(注4)
	⑩名簿登載猶予願い※	→大学院前期課程への進学予定、大学院前期課程在学者で採用候補者名簿登載の猶予を希望する場合に提出すること。(注1)
第 1 次 選 考 時	①採用願書(様式第5号)	→電子申請システムから交付された採用願書(受験番号が付されているもの)を各自印刷し、写真を貼付し第1次選考当日提出すること。(注5)
	②履歴書(様式第6号)	→出願時に提出した履歴書を各自印刷し、押印して第1次選考当日提出すること。(注5)
	③出願者名票	→電子申請システムから交付された出願者名票を各自印刷し、採用願書と同一の写真を貼付し第1次選考当日持参すること。(注5)
	④所定の「切手貼付用紙」に372円分の切手を貼付したもの。切手は必ず92円切手1枚、280円切手1枚を貼付すること。	→「切手貼付用紙」は、Webページ上の「各種様式」から入手し、所定の切手を貼付し第1次選考当日提出すること。

第 2 次 選 考 時	<p>①最終学校の卒業証書の写し、又は最終学校の長の卒業証明書又は修了証明書</p> <p>②教育職員普通免許状の写し（A4）又は免許状取得見込証明書（なお、これまでに免許更新講習修了確認、延期又は免許の申請をした者は、当該証明書の写しを併せて提出すること。）</p> <p>③海技士免状の写し※</p> <p>④管理栄養士又は栄養士の免許証の写し（「栄養教諭」に出願し、認定講習等を受講し免許状を取得する予定の者）※</p> <p>⑤配慮事項申出書※</p> <p>⑥所定の「切手貼付用紙」に372円分の切手を貼付したもの。切手は必ず92円切手1枚、280円切手1枚を貼付すること。</p> <p>⑦その他（第1次選考結果通知時に指示されたもの。）</p>	<p>→卒業見込の者は「卒業見込証明書」を、第2次選考当日提出すること。</p> <p>→免許状は、所有するすべての免許状の写しを1通ずつ第2次選考当日提出すること。</p> <p>なお、婚姻等により免許状記載の氏名から姓が変更されている場合には、戸籍抄本等改姓の内容がわかる書類を提出すること。</p> <p>→水産に出願した者は、3級以上の海技士資格を有することを証明する免状の写しを第2次選考当日提出すること。</p> <p>→「栄養教諭」に出願し、認定講習等を受講し栄養教諭免許状を取得する予定の者は、②に替えて栄養教諭免許状取得計画書（第1次選考結果通知時に指示されたもの）と④を第2次選考当日提出すること。</p> <p>→実技試験又は面接等において、何らかの配慮を必要とする場合には、事前に宮城県教育庁教職員課へ連絡の上、提出すること。提出の締切については平成26年9月5日(金)(当日消印有効)とする。</p> <p>→「切手貼付用紙」は、Webページ上の「各種様式」から入手し、所定の切手を貼付し第2次選考当日提出すること。</p>
採用候補 者名簿登 載後	<p>①在職証明書(勤務経験のある者)等 ※</p>	<p>→在職証明書を提出する際は、Webページ上の「各種様式」から入手すること。</p>

(注1) 当該書類を提出する際は、Web ページ上の「各種様式」から入手し、宮城県教育庁教職員課へ郵送すること。書類提出の締切については**平成26年5月20日(火)(当日消印有効)**とする。

(注2) 「人物証明書」及び「勤務証明書」は、受験者本人の記入欄に記入の上、所属長に作成及び送付を依頼すること。提出方法は、受験者の所属長からの簡易書留（親展）による郵送のみとする。

(注3) 当該書類を提出する際は、JICA（独立行政法人国際協力機構）に問い合わせの上、様式等を入手し、宮城県教育庁教職員課へ郵送すること。提出方法は、簡易書留（親展）による郵送のみとする。書類提出の締切については**平成26年5月20日(火)(当日消印有効)**とする。

(注4) **特別免許状取得要件に関する書類の提出について**

高等学校看護の特別免許状を取得する意志を有する者は、看護師、保健師、又は助産師としての実務経験が、**フルタイム勤務換算で5年以上であることを証明する履歴書**を、宮城県教育庁教職員課へ郵送すること。書類提出の締切については**平成26年5月20日(火)(当日消印有効)**とする。

(注5) 「採用願書」及び「出願者名票」については、7月中旬までに電子申請システムを通じて受験番号及び受験会場を記載の上、各受験者へ交付するので、各自で印刷すること。（書面による申請を行った者については、「出願者名票」を郵送する。）第1次選考当日、「採用願書（受験番号を付したもの）」、「履歴書」については提出、「出願者名票」については持参すること。（書面による申請を行った者については、「出願者名票」のみ持参すること。）

* 提出された書類等は返却しない。

* 記載内容に偽りがあった場合は受験を認めない。また、合格を取り消す場合がある。

* **郵送による提出物等の送付先**

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

宮城県教育庁教職員課 教員任用班 教員採用担当

IV 選考日程・会場等

1 第1次選考

- (1) 期 日：平成26年7月26日(土) 午前：適性検査
 ：筆記試験1(専門教養)
 午後：筆記試験2(教職教養又は小論文)
 ：集団面接(教職経験者特別選考で受験する者のみ)
- 平成26年7月27日(日) 全日：実技試験(実技試験のある者のみ)
 ：集団面接(教職経験者特別選考で受験する者のみ)

(2) 会 場：筆記試験・実技試験の会場については、下記のとおりとする。

なお、受験者各自の受験会場については、「出願者名票」を受験者へ交付する際に通知する。

①筆記試験については、次の5会場とする。

会 場	住 所
宮城県仙台第三高等学校	仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19
宮城県仙台二華中学校・高等学校	仙台市若林区連坊1-4-1
宮城県仙台三桜高等学校	仙台市太白区門前町9-2
宮城県工業高等学校・宮城県第二工業高等学校	仙台市青葉区米ヶ袋3-2-1 (2校は同一敷地内)
東京海洋大学品川キャンパス (注1)	東京都港区港南4-5-7

(注1) 東京会場では、以下の校種、職種、教科等についての選考を実施する。ただし、出願の際、東京会場での受験を選択した場合のみ受験できる。なお、東京会場では障害者特別選考は行わない。

中	(中学校教諭)の国語、社会、数学、理科、技術、	中・高	(中学校・高等学校教諭)の家庭、
高	(高等学校教諭)の国語、公民、地理歴史、数学、理科、農業、水産、工業、商業、看護、福祉、		
養護	(養護教諭)、	栄養	(栄養教諭B)

②実技試験については、次の5会場とする。

会 場	住 所
仙台市立荒町小学校	仙台市若林区荒町86
仙台市立長町南小学校	仙台市太白区長町7-23-1
仙台市立旭丘小学校	仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-1
仙台市立富沢小学校	仙台市太白区富沢字中河原17-1
宮城県仙台第二高等学校	仙台市青葉区川内澱橋通1

(3) 日程及び選考内容

月 日	時 刻	内 容	注 意 事 項
7 月 26 日	8:30 ~ 9:00	受 付 (入室)	① 筆記試験1, 筆記試験2には, 実践的指導力を問う内容を含む。 ② 高等学校の地理歴史, 理科, 工業の筆記試験1は当該教科すべての領域にわたる共通問題と各自の専門領域の問題から構成される。 ③ 中学校英語及び高等学校英語の筆記試験1には, リスニング問題を含む。 ④ 筆記試験2を小論文で受験できるのは, 教職教養を小論文に替えることができるとされた者のみ。 (Ⅱ. 3. (1)を参照のこと) ⑤ 中・高の保健体育, 音楽, 美術の筆記試験1は12:00で終了する。 ⑥ 教職経験者特別選考受験者の集団面接についての詳細(面接時間・場所等)は1次選考当日指示をする。
	9:10 ~ 9:20	諸注意・諸連絡	
	9:30 ~ 10:30	適性検査	
	11:00 ~ 12:40 (12:00)	筆記試験1 (専門教養) 各校種, 各教科・科目に関する専門分野	
	12:40 ~ 13:10 (12:00~12:30)	採用願書等の提出	
	13:10 ~ 14:20	昼食・休憩	
	14:30 ~ 15:30	筆記試験2 (教職教養又は小論文)	
14:30 ~ 17:00	集団面接 (教職経験者特別選考受験者)		
7 月 27 日	9:00 ~ 17:00	実技試験 集団面接 (教職経験者特別選考受験者)	⑦ 小学校, 中・高の保健体育, 音楽, 美術の受験者の実技試験を行う。

(4) 準備物 (全受験者共通)

- ① 筆記用具 (B又はHB鉛筆, 文字や図等のない無地の下敷きも持参すること。)
- ② 上履き (上履きが必要な会場については, 後日送付する「受験上の注意」で連絡する。)
- ③ 昼食
- ④ その他
 - * 電卓や翻訳機等 (これらの機能が付属している時計を含む。) の持ち込みは禁止する。
ただし, 以下の教科の受験者に限り, 条件に合う電卓のみ持ち込みを認める。
 - ・ **高等学校工業の受験者** 筆記試験1において **関数電卓 (ポケットコンピュータは除く)** の使用を認める。
 - ・ **高等学校商業の受験者** 筆記試験1において下記の条件を満たす電卓の使用を認める。
 高等学校商業の電卓の条件 ・関数電卓及びポケットコンピュータは不可とする。
 ・大きさは20cm×15cm以内のものとする。
 - * 以下の教科の受験者については, 筆記試験1において使用することがあるので, それぞれに示す用具を持参すること。
 - ・ **中学校数学, 高等学校数学, 中学校技術及び高等学校工業の受験者** 目盛り入り三角定規一組, コンパス
 - ・ **小学校, 中学校理科, 高等学校理科の受験者** 直線を引くことのできる定規
 - * その他必要な準備物については, 出願者名票を交付 (送付) する際に連絡することがあるので注意すること。

(5) 実技試験の内容等

採用校種	教科	試験内容	◎注意事項 ・ ◆準備物
小学校		1 水泳 (25m) 2 ボール運動 (基本的動作)	◎1つの泳法で泳ぐこと。 ◆水着, 水泳帽 ◆運動着 (15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 胸と背中に縫い付けてくること。) ◆屋内用運動靴
中学校・高等学校	保健体育	【共通種目】 ・水泳, 陸上競技, 器械運動 (マット), ダンス 《球技選択》 ・バスケットボール ・バレーボール のうち1種目選択 《武道選択》 ・柔道 ・剣道 のうち1種目選択	◎《球技選択》及び《武道選択》の中から各1種目を選択し, 採用願書の「受験教科(科目)」の欄に選択した組合せを入力 (記入) すること。 ◆運動着 (15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 胸と背中に縫い付けてくること。) ◆運動靴 (屋内用と屋外用を持参) ◆水着, 水泳帽 ◆柔道選択者: 柔道着 (柔道着の背中に15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 背中に縫い付けてくること。) ◆剣道選択者: 防具・竹刀・剣道着は不要。
	音楽	【共通試験】 1 8小節程度の当日指定された旋律に伴奏をつけたピアノ演奏を行う。 2 以下にあげる曲から当日指定の1曲を自分でピアノ伴奏をしながら歌唱する。 ・「赤とんぼ」(三木露風作詞/山田耕筰作曲) ・「浜辺の歌」(林古溪作詞/成田為三作曲) ・「からたちの花」(北原白秋作詞/山田耕筰作曲) 《選択A》 ピアノ, 管, 弦, 打楽器のうちの楽器で任意の1曲を演奏する。 《選択B》 歌曲, アリアから任意の1曲を演奏する。	◎選択A, 選択Bのいずれかを選択し, 採用願書の「受験教科(科目)」の欄に「音楽(選択A)」又は「音楽(選択B)」のいずれかを選択し入力すること。 ◎【共通試験】2については, 調は問わない。また, ピアノ伴奏については, 教科書に記載されている程度とする。 ◎《選択A及びB》で伴奏を必要とする場合は, 伴奏者を同伴すること。 ◎《選択A》でピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参すること。 ◎【共通試験】2, 《選択A及びB》については, 楽譜を持参してもよい。
	美術	絵画表現 ※ 時間は180分	◎課題は当日提示する。 ◆絵画用具一式 (絵具は水彩絵具, アクリル絵具いずれも可), 画用鉛筆, 消しゴム

2 第2次選考（第1次選考合格者についてのみ行う）

(1) 期 日：平成26年9月12日(金)・13日(土)・15日(月)・16日(火)

上記のうち12日(金)・13日(土)の2日間,または15日(月)・16日(火)の2日間となる。

*いずれの日程になるかについては別途本人あて通知する。

(2) 会 場：別途本人あて通知する。

(3) 選考内容：

① 模擬授業

- ・ 模擬授業前に示された課題内容（教科書等の教材の数ページを指定する等）により指導案（一単位時間分の略案A4判1枚程度）を作成する。
- ・ 上記指導案の一部について模擬授業を実施し、授業後に試験官からの質疑に答える。
- ・ 小学校の受験者については「国語・算数」（受験者にはいずれか1教科を当日指定する）、中学校・高等学校については「各専門教科」、養護教諭については「保健」、栄養教諭については「食に関する指導」の授業を行う。

② 個人面接

- ・ 個人面接1 民間人を含む複数の面接委員による面接を行う。
- ・ 個人面接2 複数の面接委員による面接を行う。

③ 実技試験 下記のとおりとする。

採用校種	教科	試 験 内 容	◎注意事項 ・ ◆準備物
小学校		「ピアノ」 小学校第3学年以上の歌唱教材から任意の1曲を選び、伴奏曲を弾く。 「体育実技」 マット運動	◎楽譜を持参してもよい。 ◆運動着（15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し、胸と背中に縫い付けてくる） ◆屋内用運動靴を持参すること。
中学校 ・ 高等学校	英語	示された資料の朗読及び英語による面接	
高等学校	家庭	被服（被服製作） 食物（調理実習）	◎被服及び食物実技の両方を実施する。 ◆裁縫セット、エプロン、三角巾、手拭き用タオル
高等学校	福祉	介護実習	◆運動着 ◆屋内用運動靴

3 選考基準

(1) 第1次選考

- ・ 筆記試験1, 筆記試験2, 実技試験及び集団面接の結果を選考資料とし, 願書・履歴書の記載内容, 人物証明書及び勤務証明書の記載内容を勘案して総合的に選考する。ただし, 適性検査の結果は, 選考資料には用いない。
- ・ 筆記試験1, 筆記試験2, 実技試験又は集団面接のいずれかにおいて著しく低い成績があった場合には不合格となることがある。

1) 筆記試験1 (専門教養)

採用校種・教科 (配点)		主な評価の観点
小学校(160点)		・ 小学校教員として必要な専門的知識や教養, 指導力等を総合的に身に付けているか。
中学校	国語・社会・数学・理科・技術(200点)	・ 教員として必要な教科科目の専門的知識を身に付けているか。
	英語(筆記150点・リスニング 50点)	
中・高	保健体育・音楽・美術(80点)	
	家庭(200点)	
高等学校	国語・公民・数学・農業・水産・商業・看護・福祉 (200点)	・ 生徒の学習意欲を高めるような指導力を身に付けているか。
	英語(筆記150点・リスニング 50点)	
	地理歴史・理科・工業(共通80点・専門120点)	
養護教諭(200点)		・ 養護教諭や栄養教諭として必要な専門的知識や指導力を身に付けているか。
栄養教諭(200点)		

2) 筆記試験2 (教職教養又は小論文)

選考内容・(配点)	主な評価の観点
教職教養(論述問題を含む 100点)	・ 教員として必要な教養が習得できているか。
小論文(100点)	・ 出題の意図を的確にとらえ, 自分の考えを明確にし, 適切な表現で論理的に記述できているか。

3) 集団面接

選考内容・(評価区分)	主な評価の観点
数人1組による集団面接(AからCまでの3段階評定を行う。)	・ 教員として必要な資質を備えているか。

4) 実技試験

採用校種・教科 (配点)		主な評価の観点	
小学校	水泳 (20点)	・ 基本的な実技動作, 運動能力を備えているか。	
	ボール運動 (20点)		
中学校・高等学校	保健体育	水泳(20点)	・ 体育実技を指導する上での基本的技能を理解し, 身に付けているか。
		陸上競技(20点)	
		器械運動(20点)	
		ダンス(20点)	
	バスケットボール・バレーボール(20点)		
	柔道・剣道(20点)		
音楽	共通試験(60点)	・ 音楽を指導する上での基本的な演奏技能や表現力を身に付けているか。	
	選択A又はB(60点)		
美術	絵画表現(120点)	・ 美術を指導する上での必要な技能や表現力を身に付けているか。	

(2) 第2次選考

- ・ 模擬授業、個人面接（適性検査も含む）及び実技試験の結果を選考資料とし、第1次選考の成績、願書・履歴書の記載内容、人物証明書及び勤務証明書の記載内容を勘案して、総合的に選考する。
- ・ 模擬授業、個人面接（適性検査も含む）又は実技試験のいずれかにおいて著しく低い評価があった場合には、採用候補者名簿に登載しない。
- ・ 合格者はA、Bの2段階に区分して採用候補者名簿に登載する。

選考内容	評価区分	主な評価の観点
模擬授業	・ 模擬授業及び指導案を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行う。	・ 児童生徒を惹きつける魅力、児童生徒を導く資質と能力、コミュニケーション能力を備えているか。 ・ ねらいや指導内容が適切な指導案を作成し、それに基づいた授業が展開できているか。
個人面接	・ 人物を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行う。	・ 教育への情熱や学び続ける意欲等、教員としてふさわしい資質と能力を備えているか。
実技試験	・ AからEまでの5段階評定を行う。	・ 指導する上で十分な技術や能力等を身に付けているか。

V 選考結果の通知

1 第1次選考結果：平成26年 8月29日（金）付けで郵送する。

2 第2次選考結果：平成26年 10月29日（水）付けで郵送する。

3 選考結果の情報提供

第1次選考結果及び第2次選考結果の情報提供については、受験者全員に対して下記のとおり行う。なお、総合成績ランクについては下表のとおりとする。

- (1) 第1次選考結果：筆記試験1（専門教養）、筆記試験2（教職教養又は小論文）、集団面接の評定及び実技試験の得点、並びに選考結果の総合成績ランク
- (2) 第2次選考結果：模擬授業、個人面接及び実技試験の評定、並びに選考結果の総合成績ランク

第1次選考	
ランク	結果
A	合格者
C	不合格者の中で、上位である
D	不合格者の中で、中位である
E	不合格者の中で、下位である

第2次選考	
ランク	結果
A	採用候補者名簿（A）に登載される者
B	採用候補者名簿（B）に登載される者
C	不合格者の中で、上位である
D	不合格者の中で、中位である
E	不合格者の中で、下位である

4 Web ページへの掲載

- ・ 選考結果については、本人あての結果通知のほか、受験者への情報サービスの一環として、宮城県及び仙台市のWeb ページ並びに掲示板に合格者の受験番号を掲載する。
- ・ 正式な発表は本人あての結果通知書によるものとする。また、第2次選考結果において名簿登載者となった場合のA・B登載の別も本人あてに通知する。

(1) URL： 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

仙台市 <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/>

(2) 掲示場所： 仙台市役所本庁舎東側掲示板

(3) 掲載期間： 第1次結果 平成26年 8月29日（金）午前10時～9月5日（金）午後4時

第2次結果 平成26年 10月29日（水）午前10時～11月5日（水）午後4時

VI 名簿登載・採用

- 1 第2次選考の結果、A及びBランクの者を「平成27年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者名簿」に登載する。
- 2 名簿登載の有効期間は、平成27年4月1日から1年間とする。なお、平成27年3月31日までに免許状が取得できない者は、登載を取り消す。
- 3 教員免許更新制において、免許状の更新等をせず、平成27年4月1日に効力を失っている場合は、登載を取り消す。
- 4 小学校、中学校を志望した者に対しては、宮城県公立学校と仙台市公立学校のいずれを希望するかについて、第2次選考時の個人面接の際に調査するが、採用時に希望どおりになるとは限らない。
- 5 第2次選考の結果、名簿にB登載となった者について、平成27年度に採用されなかった場合は、同一校種・教科（科目）を受験する場合に限り、次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。ただし、自己都合による辞退者は除く。

VII 大学院前期（修士）課程進学予定者・大学院前期（修士）課程1年生への採用候補者名簿登載の猶予について

- 1 第2次選考の結果、A及びBランクの者のうち、国内の大学院前期課程（通信制課程を除く）に進学する予定又は在籍中の者に対して、大学院修了までに、合格した出願区分の校種・教科等の専修免許状を取得することを条件に採用候補者名簿登載を猶予する。
- 2 名簿登載猶予の手続きは次のとおりとする。
 - (1) 名簿登載猶予を希望する者は、出願時に「名簿登載猶予願い」を宮城県教育庁教職員課へ郵送すること。書類提出の締切については**平成26年5月20日(火)(当日消印有効)**とする。なお、期日までに提出のない者については、猶予を認めない。
 - (2) 第2次選考の結果、A及びBランクの者で、(1)の書類を提出した者は、第2次選考合格通知書に同封する「名簿登載猶予申請書」、「大学院合格通知書の写し」又は「大学院在学証明書」を**平成26年12月15日(月)(当日消印有効)**までに宮城県教育庁教職員課へ郵送する。
 - (3) 宮城県教育委員会・仙台市教育委員会が名簿登載猶予を認めた場合、該当者に許可書を郵送する。
 - (4) 大学院修士課程1年在籍者は、平成28年度採用予定候補者名簿に登載する。大学院進学予定者は、平成29年度採用予定候補者名簿に登載する。
- 3 名簿登載期間は1年間とする。大学院修士課程1年在籍者にあつては平成28年3月31日までに、大学院進学予定者にあつては平成29年3月31日までに、相当の専修免許状を取得できない場合には名簿登載を取り消す。

VIII 勤務条件等

1 給与（平成26年4月1日現在）

・初任給

区 分	小・中学校	県立高校・県立特別支援学校
大学院（修士）修了	221,900 円	221,900 円
大学 卒	199,700 円	199,700 円
短大 卒	177,200 円	174,700 円

・前歴加算

民間企業等における職歴がある場合には、この初任給に一定の基準による加算がある。

・諸手当

教職調整額、義務教育等教員特別手当、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（年間3.95ヵ月）などがそれぞれの要件により支給される。

2 勤務時間等

- ・勤務時間 1週間について38時間45分
- ・休日等 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- ・休暇等 年次有給休暇（4月1日採用の場合は年間15日）、産前産後休暇、育児休業（無給）等

IX その他

1 留意点

- (1) 出願書類受付後に受験する校種・職種及び受験教科(科目)を変更することは認めない。また、第1次選考及び第2次選考いずれにおいても受験科目等のうち1つでも受験しなかった場合には、選考外とする。
- (2) 第1次選考において、所定の写真を貼付した出願者名票を持参しなかった者については、原則として受験を認めない。(出願者名票に関する問い合わせは7月25日の正午まで受け付ける。)
- (3) 第2次選考において、所定の写真を貼付し、第1次選考時の受付印のある出願者名票を持参しなかった者については、原則として受験を認めない。
- (4) 第1次選考の筆記試験1及び筆記試験2において、開始時刻30分以降は入室を認めない。(公共交通機関の遅れによる場合を除く。)

2 平成26年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考結果

	小学校	中学校							中学校・高等学校				
		国語	社会	数学	理科	技術	英語	計	保体	音楽	美術	家庭	計
1次受験者	1,080	117	260	180	108	28	221	914	329	85	75	51	540
2次受験者	519	48	43	56	54	13	53	267	69	21	22	12	124
名簿登載者	271	23	23	29	27	6	31	139	30	11	12	4	57

	高等学校													養護 教諭	栄養 教A	栄養 教B	合計
	国語	公民	地歴	数学	理科	農業	水産	工業	商業	英語	看護	福祉	計				
1次受験者	79	52	100	107	111	16	1	48	45	93	1	10	663	232	11	31	3,471
2次受験者	29	12	24	42	39	9	1	23	12	26	1	4	222	43	6	6	1,187
名簿登載者	15	3	6	22	11	3	1	6	5	15	1	3	91	21	1	1	581

* 昨年度実施していない科目は掲載していない

3 前年度(平成26年度)の問題の公開について

前年度の教職教養問題及び専門教養問題とその解答例、模擬授業の課題については、以下の場所で閲覧、コピーができる。

- 県政情報センター 〈022-211-2263〉 ○ 仙台市市政情報センター 〈022-214-1239〉
- 各地方振興事務所及び地域事務所の県政情報コーナー
 - ・大河原〈0224-53-3111〉 ・北部〈0229-91-0764〉 ・栗原地域〈0228-22-2111〉
 - ・東部〈0225-95-1411〉 ・登米地域〈0220-22-6111〉 ・気仙沼〈0226-24-2121〉

* 県政情報センターについては、郵送での対応も可能。詳細は上記連絡先まで問い合わせのこと。

4 第1次選考 筆記試験会場 交通案内

会 場	交通手段		下 車
宮城県仙台第三高等学校	JR東日本	東北本線	東仙台駅 (徒歩20分)
	仙台市営地下鉄	地下鉄台原駅下車	鶴ヶ谷三丁目三高前
	仙台市営バス	市営バス鶴ヶ谷七丁目行き	(徒歩 1分)
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑱番	鶴ヶ谷七丁目行き	鶴ヶ谷三丁目三高前 (徒歩 1分)
宮城県仙台二華 中学校・高等学校	仙台市営地下鉄		五橋駅 (徒歩 7分)
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑤番	霞の目営業所行き	五橋三丁目 (徒歩 3分)

宮城県仙台三桜高等学校	仙台市営地下鉄		長町一丁目駅 (徒歩15分)
	仙台駅西口バスプール 宮城交通⑦番	大年寺経由のバス	三桜高校前 (徒歩 3分)
宮城県工業高等学校 宮城県第二工業高等学校	仙台市営地下鉄		五橋駅 (徒歩15分)
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑩番	霊屋橋(おたまやばし)経由 緑ヶ丘3丁目行 霊屋橋経由八木山南団地行 *愛宕橋経由には乗車しないこと	霊屋橋瑞鳳殿入口 (徒歩10分)
東京海洋大学 品川キャンパス	JR 線 京浜急行線		品川駅港南口 (東口) (徒歩 10分)

5 第1次選考 実技試験会場 交通案内

会 場	交通手段		下 車
仙台市立荒町小学校	仙台市営地下鉄		愛宕橋駅 (徒歩 3分)
仙台市立長町南小学校	仙台市営地下鉄		長町南駅 (徒歩 5分)
仙台市立旭丘小学校	仙台市営地下鉄		旭ヶ丘駅 (徒歩 3分)
仙台市立富沢小学校	仙台市営地下鉄		富沢駅 (徒歩15分)
宮城県仙台第二高等学校	仙台市営地下鉄		広瀬通駅 (徒歩15分)
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑩番	川内営業所行 交通公園循環	二高・宮城県美術館前 (徒歩 1分)

* 各試験会場とも自家用車の乗り入れは禁止する。

仙台市交通局 HP <http://www.kotsu.city.sendai.jp/>

宮 城 交 通 HP <http://www.miyakou.co.jp/>

JR 東 日 本 HP <http://www.jreast.co.jp/>

6 問い合わせ先

宮城県教育庁教職員課 TEL 022-211-3637

仙台市教育局学校教育部教職員課 TEL 022-214-8873

(土日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分)

* 試験の内容に関する問い合わせには応じられない。

* 受験資格、電子申請等に関する「よくある質問」については、宮城県教育庁教職員課の Web ページに掲載。
(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)



えが
一緒に描く、みやぎの未来。



平成27年度 宮城県・仙台市

公立学校教員募集案内

宮城県教育委員会・仙台市教育委員会

みやぎの教育

宮城県・仙台市では、「志教育」、「仙台自分づくり教育」に取り組んでいます。



宮城県 ～みやぎの「志教育」～

みやぎの「志教育」とは

小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育です。(みやぎの「志教育」は、平成22年3月に策定された「宮城県教育振興基本計画」において、重点的に取り組むべき施策の一つとして掲げられています。)

「志教育」3つの視点 (この3つの視点に基づき、各学校で計画を立案し実践しています。)

人と「かかわる」

様々な人とのかかわりを通して、自己理解や他者理解を深化させる。集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。

よりよい生き方を「もとめる」

学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させる。社会において役割を果たす人間として、自らの在り方生き方について主体的に探求させる。

社会での役割を「はたす」

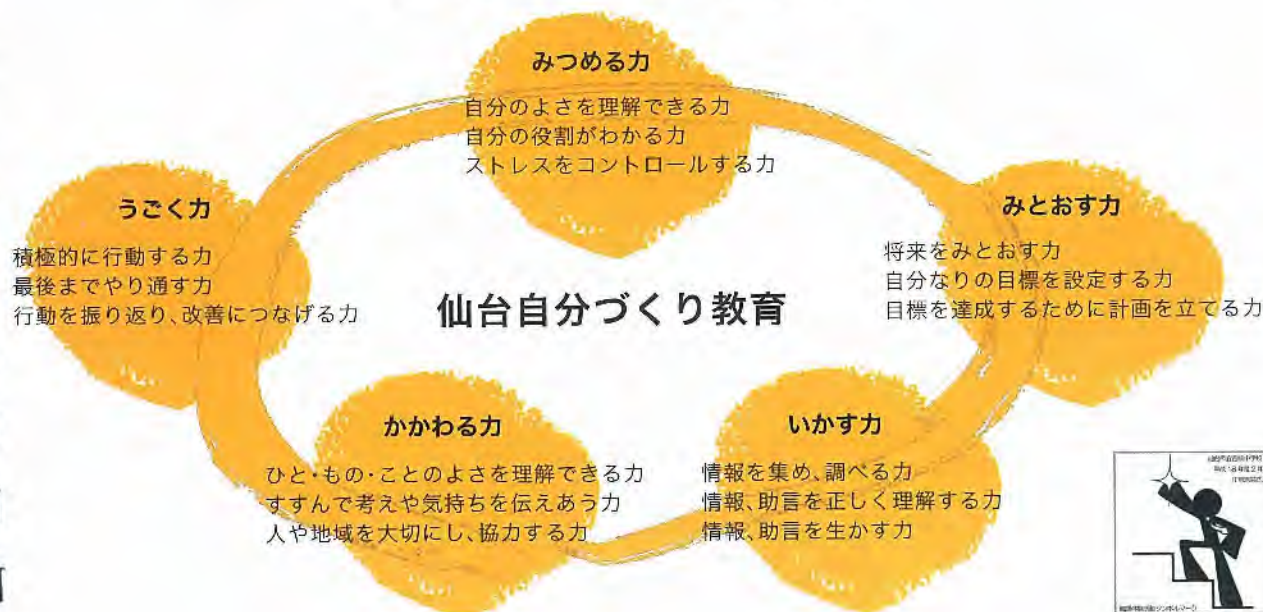
集団や組織の中で、自分の果たすべき役割を認識させる。自己の役割を果たすことによって自己有用感を高める。

仙台市 ～「仙台自分づくり教育」～

「仙台自分づくり教育」とは

児童生徒一人一人が、確かな学力の向上を図るとともに、人とのかかわりを大切にしながら、将来の社会的、職業的自立をめざして、必要な態度や能力をはぐくみ、社会人としてより充実した生き方を切り拓いていくことを目的とした教育です。(仙台市教育委員会では、この「仙台自分づくり教育」を最重点事項として教育施策に位置づけています。)

身に付けさせたい能力と具体的な視点



みやぎの教員に求められる資質・能力

みやぎの教員に求められる資質や能力は、教員個人による自己研鑽と職場での各種研修によって、より確かなものにするのが期待されています。

学校の教育力を構成する実践力

子ども理解

授業力

- 「わかる授業」ができ、子どもが「できるようになる」指導ができること
- 子どもたちに学ぶ楽しさを感じさせることができ、学ぶ力や学ぼうとする力をも身につけさせること

- 習熟度や生活面等に関する子どもの実態を的確に把握でき、それに応じた適切な指導ができること
- 子どもと共感的コミュニケーションがとれ、信頼関係を構築できること

生徒指導力

- 社会性をはぐくむための適切な生活指導・生徒指導ができること
- 適切な学級経営ができ、快適な学びの環境を確立できること

学校を支える力

- 校長、教頭や他の教職員と協力しながら、学びの場としての学校を組織的に支えられること
- 学校の教育目標を共有し、その実現に向けて自分の役割を果たせること
- 協調性を持ち、教職員や保護者等と適切なコミュニケーションがとれること
- 校務を効率的にこなすとともに、常に改善を図っていけること

実践力の基盤となる意欲・人間性等

教育への情熱

- 子どもに対する愛情を持ち、子どもの成長に喜びを感じられること
- 教員としての「使命感」を持ち、子どもに範を示す意識を持っていること
- 「積極性」や「粘り強さ」を備え、子どものために惜しみない支援をしていけること

自己研鑽力

- 授業力・生徒指導力等について、「常に学び続ける」という謙虚な気持ちを持ち続け、自己研鑽を継続できること
- 自分の目標や憧れる理想像をしっかりと持ち、それに向かって努力し続けることができること
- 他人の意見を謙虚に受け止め、自分を客観的に評価することができ、それらを自らの向上に繋げられること

たくましく豊かな人間性

- 広い教養を備え、子どもや他の職員から好かれる「魅力的な人柄」であること
- 心身の健康を保つ自己管理ができること
- 社会人・公務員としての「規範意識」や組織の一員として求められる「責任感」を備えていること
- 自信の源となる専門分野・得意分野を持っていること

ともにみやぎの教育の復興を

～子どもたちの未来のために～

あの東日本大震災から、約3年。全国から寄せられた多くの支援を受け、宮城県・仙台市は少しずつ復興しつつあります。学校においても、子どもたちの笑顔が戻ってきています。

ふるさとみやぎの復興のためには、次代を担う子どもたちの教育がなによりも重要です。

子どもたち一人一人の心をはぐくみ、夢ある未来への道筋を拓くため、宮城県と仙台市の教員は希望を胸に日々教育活動に励んでいます。あなたも、宮城県・仙台市の教員として、ともに子どもたちの未来をはぐくみませんか。

復興に向けた取組

「子供達の未来へ」

東日本大震災の大津波により瓦礫の山と化した雄勝の町を初めて見たときは、言葉では言い表せないほどの衝撃でした。途方に暮れる私たち教職員の気持ちを奮い立たせてくれたのは、全員無事でいてくれた生徒たちの笑顔でした。「無事でいてくれてありがとう」という生徒への思いがゼロからのスタートを勢いあるものにしてくれました。家や思い出までも失ってしまった生徒たちに私たちがやらなければならないこと。それは、将来への希望を持たせることでした。教職員自ら視野を広げ、関係機関や団体、地域との連携を図りながら様々な教育活動を行ってきました。生徒たちはそれに応え、学習や諸活動に真剣に取り組んでくれました。特に全校で取り組んだ地域の伝統芸能である太鼓では、海外公演の機会もいただき、生徒の自信に繋がりました。震災から2年半が過ぎ、逆境を乗り越え、生徒たちが未来に向かって生きていく土台となるものを多く得てきた今、この土台は「生き方への自覚」を促し「学習する意欲」を確実にはぐくんでいます。これから受験するみなさん、夢と希望に溢れ「たくましく生きる」宮城の子どもたちと一緒に育てていきましょう！



佐々木 裕
石巻市立雄勝中学校
教諭



小野寺 文男
気仙沼海洋高等学校
主幹教諭

「ともに頑張ろう」

東日本大震災で私が勤務していた高校は甚大な被害を受け、私達を取り巻く学習環境は一変しました。当時は、学習するどころか生きていくことがやっとで、今後どうなるのだろうという不安ばかりが募る毎日でした。しかしそんな状況下でありながらも、笑顔を決して絶やさず登校してくる子どもたちの姿に、何度となく救われました。そして、子どもたちが発する「先生」という呼びかけの重さに、改めて教師としての使命感や責任感を痛感しました。究極の苦しい場面でありながら、子どもたちは他者を思いやり、自ら考え、協力してこの苦しい状況を乗り切りろうとしました。まさに「生きる力」が発揮され、子どもたちの真の姿を垣間見た瞬間でした。しかしながら震災から3年が経過した今でも、宮城の復興には終わりが見えてきません。そんな中、ダイヤの原石とも言える子どもたちが光りを放つためには、豊かな人間性や教育への情熱を持った皆さんの力が必要不可欠となります。大変なことも多いですが、それ以上にやり甲斐も感じられるのが教師という職業です。宮城の復興に向けて、教育面から子どもたちとともに頑張ってみませんか。

「学べる喜びが、生きる希望に」

あの震災からもうすぐ3年が経過しますが、その爪痕は未だ子どもたちの心に深く残っています。しかし、子どもたちはとても明るく、学校には笑顔があふれています。なぜなら、それは友達がいる、ともに学べる喜びがそこにあるからです。震災を通じて、子どもたちはこの当り前の大切さを学ぶことができました。今、その子どもたちに、私が教師としてやらなければならないことは、安心して過ごせる学級づくりです。その中で、子どもたちは自分や友達が、かけがえのない存在なのだ気付くことができると思います。しっかり生きていこうという前向きな気持ちを養うことができるような授業、達成感を味わえるような活動、これらを心がけることで、子どもたちは楽しく学校に来ることができると思います。子どもたちが元気になることは地域を明るくし、気仙沼の未来を築き上げることにつながると私は信じています。教師はそういった意味でやりがいのある職業です。今夢に向かってる皆さん、ぜひ子どもたちに学ぶ喜びを教えてください。



村上 美和
気仙沼市立松岩小学校
教諭

先輩からのメッセージ

新人教員としての夢、展望 (すべて平成25年度採用)



佐藤 徹
岩ヶ崎高等学校
教諭



「人のために」

「人のためにになりたい」という漠然とした思いの中、教師になりたいと思った小学生時代。中学、高校と一日の大半を過ごした学校での時間や多くの先生方からの指導なくして今の自分はない、自分もその学校現場での仕事の一端を担いたいと強く思い始めたのは、周りの友人が就職活動を始めた大学時代だったと記憶しています。私にとって授業時間が一番楽しい時です。実際に仕事が始まり、今までに経験したことのない連続で力不足を感じてばかりですが、生徒たちの物事に真剣に取り組む姿や楽しそうな笑顔、生徒の日々の成長を見て感じる事ができた時ほど嬉しいことはありません。それを求めるうちに自分自身の教師としての力量、能力の向上が重要であることに気がきました。できること、やれることを増やすために、自分が成長することこそが「人(生徒)のためになる」のだと思い精進しています。採用試験に向けたあらゆる取り組みは必ず生徒のために繋がります。一緒に頑張りましょう。

「一人ではできない仕事」

私は、小学校の頃から「学校の先生」という職業に憧れがありました。大学時代、教育実習へ行ってから、その憧れは目標が変わり、現実となりました。教師になってからの毎日は、初めてのことばかりでした。初めての家庭訪問、初めての授業参観、初めての通信表…。この間まで学生だった自分が、教師として子どもたちを任される立場になることの責任の重さを感じました。しかし、今一番感じているのは、この仕事は一人では絶対にできないということです。困った時にいつも丁寧に教えてくださる同僚の先生方や温かく見守ってしてくれる保護者の方々、そして何より、何事にも一生懸命に取り組む子どもたちに助けられて、毎日頑張ることができています。子どもたちは、日々成長します。失敗をすることがあっても、次の時にはそれを生かして前向きに取り組む子どもたちから、私自身学ぶことが多いです。今後も、子どもたち一人一人の長所を認めて、伸ばしてあげられる教師になっていきたいです。これから受験される皆さんも、子どもが好きなならば、ぜひ自信をもって頑張ってください。応援しています。



渡邊 愛美
利府町立しらかし台小学校
教諭



「ともに成長する」

小学生の頃から、勉強することやいろんなことを経験できる学校が好きで、「先生になれたらなあ。」と思っていました。学校は、毎日新しい発見がいっぱいで素敵な宝箱のようでした。念願がかない教員となって半年が経ちますが、今でも勉強の毎日です。子どもの数だけ指導法があり、教えることの難しさを実感しています。しかし、子どもたちとともに悩み、ともに考え、ともに未来を見つめることで、自分も子どもとともに成長しているのだと強く感じています。採用試験になかなか合格することができずに落ち込む時期もありましたが、あきらめず教員を目指すことができたのは、自分も新しい発見や驚きを与えたい、学校で働きたいという強い思いと、同じ教員を目指す仲間や職場の先生方からの励ましがあつたからです。現在も、周囲の人々に支えていただきながら教員として過ごしています。これからも、常に学び続ける姿勢を持ち、情熱を持って子どもと接していきたいです。



高橋 絵里香
仙台市立根白石中学校
教諭



「子どもたちの笑顔のために」

高校生の頃、悩みを抱えていた私の話を親身になって聞き、そっと背中を押してくれたのが養護の先生でした。私も困っている子どもたちの支えになることができたらいいなと思ったことが、養護教諭を目指すきっかけとなりました。宮城県の養護教諭として働き始めて半年が経ちます。忙しい毎日ですが、学びを得ない日は1日ありません。保健室での子どもたちとの関わりや、周りの先生方からたくさん学ぶ、充実した毎日を送っています。うまくいかない日もありますが、子どもたちの心身の課題解決に向け、一人一人の気持ちに寄り添った支援や指導のできる養護教諭になりたいです。養護教諭を目指している皆さん、諦めずに努力すれば必ず夢は叶います。たくさんの子供たちが皆さんを待っていますよ。応援しています。



諏訪部 祥
石巻市立向陽小学校
養護教諭



教員採用選考の概要

平成25年度に実施した選考内容の概要です。

平成26年度実施の選考内容については、平成26年4月に公表される選考要項で確認してください。

(1)採用校種・教科等

小学校教諭、中学校教諭(国語、社会、数学、理科、技術、英語)、中・高教諭(保体、音楽、美術、家庭)、
高校教諭(国語、地歴、公民、数学、理科、農業、水産、工業、商業、英語、看護、福祉)、養護教諭、栄養教諭

(2)選考内容

①一般選考

- 第1次選考 筆記試験1: 専門教養—各校種、各教科科目に関する専門分野
筆記試験2: 教職教養—教員として必要な教養に関する分野(*)
実技試験: 小学校—水泳、ボール運動
保体—水泳、陸上競技、器械運動、ダンス、球技(バレー・バスケから選択)、武道(柔道・剣道から選択)
音楽—ピアノ、歌唱、および楽器または歌唱 美術—デザイン表現

*なお、所定の要件に該当する者については、筆記試験2において、「教職教養」を「小論文」に替えて出願することができます。
(所定の要件の例:出願時に宮城県内で講師等の職に就いており、この3年間の間に、常勤講師歴(又は非常勤講師歴)が12月以上ある者。)

- 第2次選考 模擬授業: 授業前に示された課題内容(教科書等の教材の数ページを指定する等)により指導案(一単位時間分の略案A4版1枚程度)を作成し(作成時間50分程度)、それをもとに指導案の一部について模擬授業(授業時間15分程度)を行う。授業後に試験官からの質疑に答える。
個人面接1: 民間人を含む複数の面接委員による面接を行う。
個人面接2: 複数の面接委員による面接を行う。
実技試験: 小学校—ピアノ、マット運動 英語—示された資料の朗読及び英語による面接
家庭—被服製作、調理実習 福祉—介護実習
適性検査

②教職経験者特別選考(所定の出願要件に該当する者*)

*所定の出願要件(平成25年度実施の場合)

出願時に宮城県内で講師等の職に就いており、この5年間の間に常勤講師歴が通算24月以上ある者。または、出願時に学校教育法第1条に定められた学校の教員として継続して24月以上就いている者。(ただし、栄養教諭Aの受験者は対象外。)

- 第1次選考 筆記試験1: 一般選考に同じ
集団面接: 数人1組による集団面接
実技試験: 一般選考に同じ
第2次選考 一般選考に同じ

③障害者特別選考(所定の出願要件に該当する者*)

*所定の出願要件(平成25年度実施の場合)

身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者で、かつ自力による通勤及び職務遂行が可能な者。選考内容は、原則として一般選考と同様に行うが、障害の種類や程度に応じて、実技試験の一部免除等を行う。



過去の選考結果

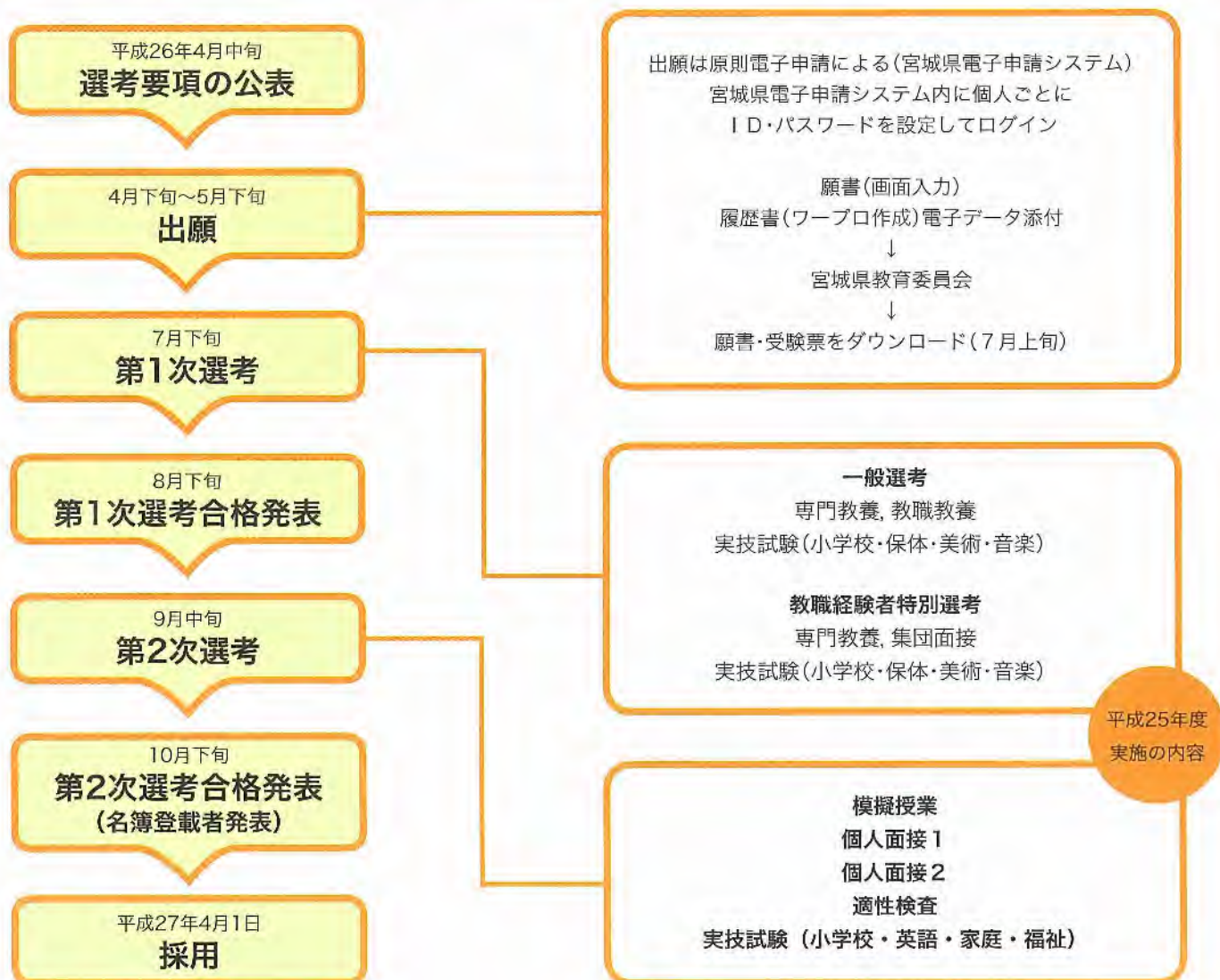
平成26年度選考(平成25年度実施)の結果

	小学校	中学校							中学校・高等学校				
		国語	社会	数学	理科	技術	英語	計	保体	音楽	美術	家庭	計
1次受験者	1,080	117	260	180	108	28	221	914	329	85	75	51	540
2次受験者	519	48	43	56	54	13	53	267	69	21	22	12	124
名簿登載者	271	23	23	29	27	6	31	139	30	11	12	4	57

	高等学校													養護 教諭	栄養 教A	栄養 教B	合計
	国語	公民	地理	数学	理科	農業	水産	工業	商業	英語	看護	福祉	計				
1次受験者	79	52	100	107	111	16	1	48	45	93	1	10	663	232	11	31	3,471
2次受験者	29	12	24	42	39	9	1	23	12	26	1	4	222	43	6	6	1,187
名簿登載者	15	3	6	22	11	3	1	6	5	15	1	3	91	21	1	1	581

平成27年度 宮城県・仙台市 公立学校教員採用候補者選考

出願から採用までのスケジュール



Q&A

Q. 教員採用選考試験関係の情報はどのようにしたら手に入れることができますか？

A. 宮城県教育庁教職員課のホームページをご覧ください。最新の情報をご覧いただけます。
(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)

Q. 出願方法について教えてください！

A. 出願は原則として電子申請で行います。宮城県教育庁教職員課のホームページから「電子申請・届出メニュー」画面に入り出願することができます。また、インターネットに接続できないなど、電子申請が困難な場合は「書面による申請」も可能です。宮城県教育庁教職員課にご連絡ください。

Q. 宮城県外で試験を受けられるのですか？

A. 第1次選考は、東京会場で受験することができます。受験可能な校種・教科については選考要項で確認してください。

Q. 勤務地は希望できるのですか？

A. 小・中学校の受験者には、宮城県と仙台市のいずれを希望するかについて第2次選考時に調査します。ただし、全体を考慮しての勤務地決定となることから採用時に希望どおりになるとは限りません。

Q. 採用後の研修について教えてください！

A. 学校生活での不安解消の他、実践的指導力や使命感を養うために、初任者に対して研修を行っています。その他、5年、10年経験者や教科・領域等の研修などスキルアップのため様々な研修があります。

Q. 福利厚生はどうなっていますか？

A. 採用と同時に公立学校共済組合員となり、健康保険・年金制度はもちろん、次のような制度を利用できます。
給付制度：病気、災害、結婚、出産時の給付金が受けられます。
貸付制度：一般、教育、住宅、結婚等の貸付が受けられます。
検診制度：人間ドッグや各種がん検診を受診できます。
その他、健康づくりのためのセミナーなど各種事業があります。

Q. 採用後の給与について教えてください！

区分	小・中学校	県立高校・県立特別支援学校
大学院卒	221,900円	221,900円
大学卒	199,700円	199,700円
短大卒	177,200円	174,700円

(平成25年4月1日現在)

前歴加算 民間企業における職歴がある場合には、この初任給に一定の基準による加算があります。

諸手当 教職調整額、義務教育等教職特別手当、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当などがそれぞれの要件により支給されます。

Q. 講師として働きたいのですが、どのようにすればよろしいですか？

A. 教員免許状があれば、所有する免許状に応じて小・中・高・特別支援学校の講師として働くことができます。常勤講師は、欠員、産前・産後休暇、育児休業、病気休暇などにより補充が必要となったとき、その代替者として勤務します。非常勤講師は、特定の時間のみ勤務するもので、時間給が支給されます。講師の任用希望は、電子申請または書面で随時受け付けておりますので、宮城県教職員課または仙台市教職員課までお問い合わせください。

問い合わせ先

宮城県教育委員会 教育庁教職員課

〒980-8423仙台市青葉区本町三丁目8番1号
Tel(022)-211-3637
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

仙台市教育委員会 教育局学校教育部教職員課

〒980-0811仙台市青葉区一番町4-1-25東二番丁スクエア
Tel(022)-214-8873
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/>

特別展

The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori

手塚治虫×石ノ森章太郎

マンガのちから

2014.5.31sat ⇨ 7.27sun

宮城県美術館 The Miyagi
Museum of Art

開館時間：午前9時30分 — 午後5時（発券は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（ただし7月21日は開館、7月22日休館）

観覧料：一般1,200（1,100）円、学生1,000（900）円、小・中・高校生600（500）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

主催：
宮城県美術館
NHK仙台放送局
NHKプラネット東北
河北新報社
後援：
外務省
経済産業省
仙台市教育委員会
TBC東北放送
仙台放送
ミヤギテレビ
KHB東日本放送
Date fm
協力：
石ノ森章太郎ふるさと記念館
石ノ森画館
特別協力：
手塚プロダクション、石森プロ
制作協力：
NHKプロモーション
機材協力：
NECディスプレイソリューションズ

©手塚プロダクション ©石森プロ

資料配付（3）





手塚治虫

特別展

The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shotaro Ishinomori

手塚治虫×石森章太郎 マンガのちから



石森章太郎 ©石森プロ

夢、希望、勇気… 私たちにたくさんの感動を与えてくれるマンガは、いまや日本的な文化の一つとして世界中で親しまれています。マンガの可能性を大きく広げた“マンガの神様”手塚治虫と、その可能性に敏感に反応してマンガを育て上げていった“マンガの王様”石森章太郎は、戦後史における“マンガのちから”の源流をたどる上で、欠くことのない存在です。

本展では、「鉄腕アトム」、「ブラック・ジャック」や「サイボーグ009」、「仮面ライダー」といった代表作の原画や映像などを通して、この二人の歩み、作品に込められたメッセージを振り返ります。二人の作品の特徴である親しみやすいイメージとユニークなキャラクター、普遍的なテーマを含んだ物語は、多くの人々を惹きつけました。本展では、その影響を受けて育った現代アーティストら著名人たちによるオマージュ作品も紹介します。世界を変えてきた“マンガのちから”を感じる、またとない機会となるでしょう。



石森章太郎「サイボーグ009」 ©石森プロ

関連行事

手塚治虫、石森章太郎のキャラクターやマンガにちなんだ、工作やお絵かきが楽しめるコーナーを開設します。展覧会とあわせてお気軽にお立ち寄りください。

- ★開設日：会期中毎週日曜日、7月19日(土)、7月21日(月)
- ★時間：13時～16時30分
- ★場所：1F創作室ギャラリー

次回展覧会予告

「東日本大震災復興支援
特別公開 ゴッホの『ひまわり』展」
7月15日(火)～8月31日(日)

「篠山紀信展 写真力」
8月6日(水)～10月19日(日)



手塚治虫「鉄腕アトム」 ©手塚プロダクション

宮城県美術館への交通案内



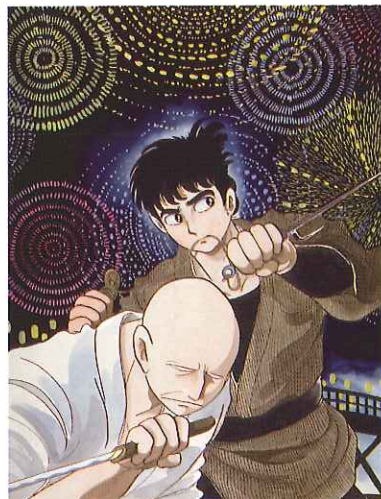
- バス利用の場合
 - 仙台駅西口バスプール仙台市営バス16番乗場から「交通公園行(広瀬通経由)」もしくは「川内営業所前行」に乗車、二高・宮城県美術館前下車。広瀬通一番町バス停(仙台フォーラス前)からも「交通公園行(広瀬通経由)」バスをご利用になれます。
 - または仙台市営バス9番乗場から「宗教大」[動物公園循環]に乗り、国際センター西下車、北方向へ徒歩8分。
 - るーぶる仙台バスの場合/二高・宮城県美術館前下車。
 - タクシー利用の場合/仙台駅から約10分。
 - 高速道路利用の場合/東北自動車道・仙台宮城1.Cより仙台方面(仙台西道路)に入り、青葉城址方面を經由して美術館へ。仙台宮城1.Cより約15分。 ※駐車場に限りがあります。出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

協力館のご案内

- ①石森章太郎ふるさと記念館
〒987-0601 登米市中田町石森字町132 Tel.0220-35-1099
- ②石森萬画館
〒986-0823 石巻市中瀬2-7 Tel.0225-96-5055



手塚治虫「ブラック・ジャック」 ©手塚プロダクション



石森章太郎「佐武と市捕物控」 ©石森プロ

宮城県美術館 The Miyagi Museum of Art

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 Tel.022-221-2111
<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

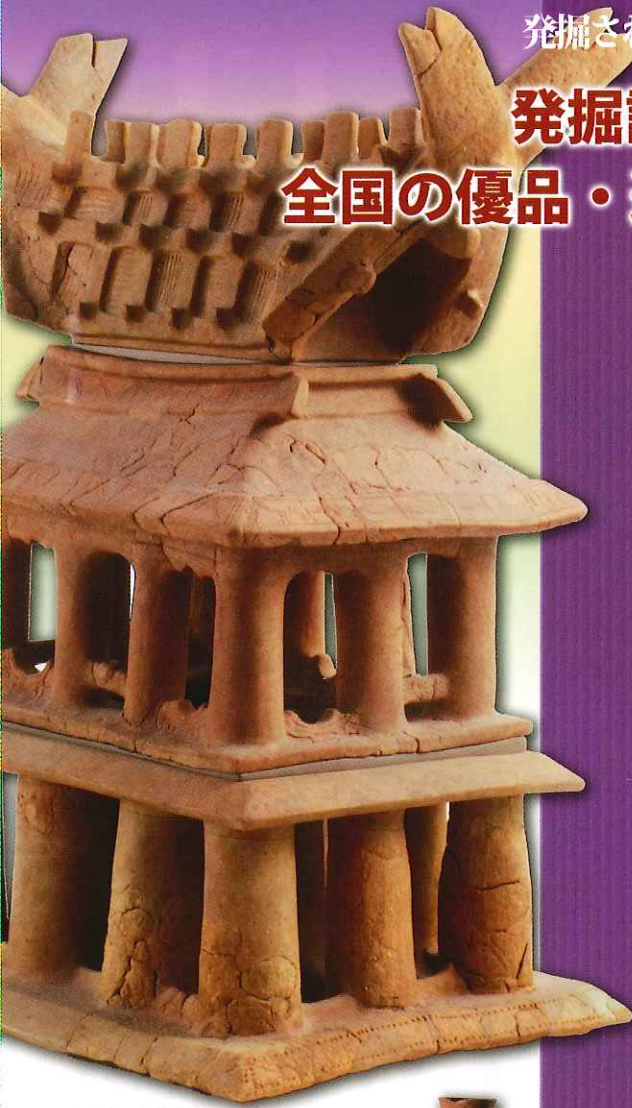


発掘された日本列島展20周年記念

資料配付 (4)

発掘調査20年の集大成
全国の優品・逸品が宮城にやってくる!

日本発掘



史跡 大阪府
今城塚古墳



特別史跡 佐賀県
吉野ヶ里遺跡



特別史跡 青森県
三内丸山遺跡



新潟県
野首遺跡

発掘された日本列島2014

開館時間 午前9時30分～午後5時
(発券は午後4時30分まで)

休館日 祝日を除く月曜日

関連行事 ■ 講演会
6月15日(日) 13:30～
文化庁記念物課 調査官

■ 学芸員による展示解説
6月15日を除く
毎週日曜日 11:00～

地域展 「復興と創造のために—宮城の復興 発掘調査—」

観覧料		()内は20名以上の団体料金	
一般・大学生	800(700)円	高校生	300(240)円
シルバー	700(600)円	小・中学生	100(80)円

【主催】文化庁 東北歴史博物館 東京都江戸東京博物館 堺市博物館 長野市立博物館 九州国立博物館
 【協力】株式会社朝日新聞社 株式会社朝日新聞出版社 NHKプロモーション 全国公立埋蔵文化財センター
 連絡協議会 全国埋蔵文化財法人連絡協議会
 【後援】全国史跡整備市町村協議会 多賀城市 多賀城市教育委員会 多賀城市観光協会 多賀城・セケ浜商工会
 ①②③ 仙台放送局 TBC東北放送 ④ 仙台放送 KHB東北放送 ⑤ エフエム仙台 ⑥ 河北新報社
 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 産経新聞社東北総局 宮城ケーブルテレビ エフエム仙台

2014
5/31(sat)
~ 7/9(wed)

東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM
〒985-0862 宮城県多賀城市高崎 1-22-1
TEL 022-368-0106 FAX 022-368-0103
thm-service@pref.miyagi.jp (Eメール)
http://www.thm.pref.miyagi.jp (ホームページ)

発掘現場から

文化力
POWER OF CULTURE

発掘された日本列島展 20周年記念

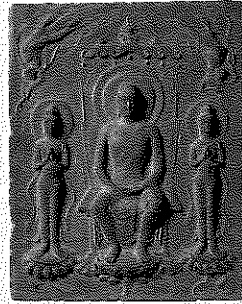
大阪府高槻市
史跡今城塚古墳出土
巫女形埴輪



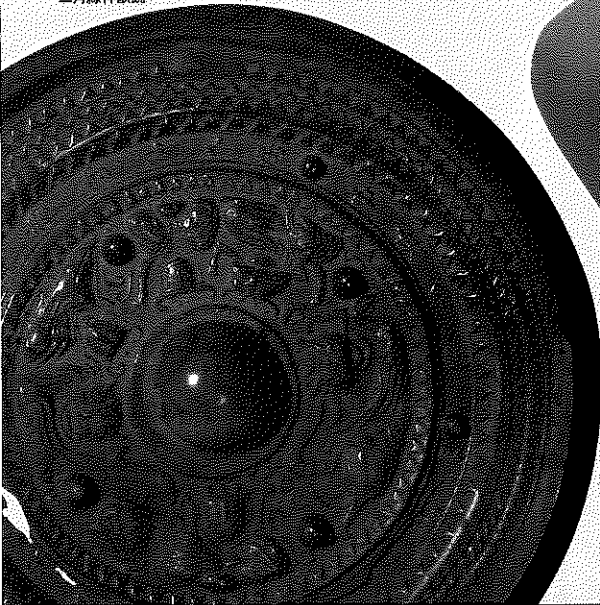
重要文化財
青森県むつ市
二枚橋(2)遺跡出土
土偶



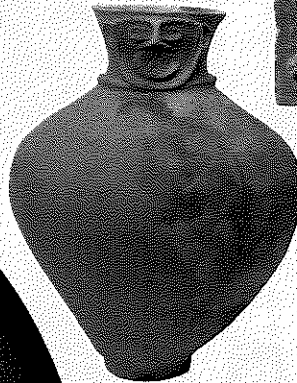
奈良県明日香村
川原寺跡出土
方形三尊磚依



奈良県御所市
鴨部波1号墳出土
三角縁神獸鏡



茨城県常陸大宮市
小野天神前遺跡出土
人面付土器



宮城県南三陸町 新井田館跡全景

特別展 日本発掘

発掘された日本列島2014

「日本発掘」は、全国の発掘成果を集めて行う「発掘された日本列島展」が20周年を迎えることを記念して、この間の日本を代表する発掘成果を紹介する特別展です。

展示は、これまでの列島展の資料の中で重要文化財に指定された資料や日本を代表する遺跡の出土資料を紹介する第一部「重要な発掘成果展」と、近年の発掘成果を紹介する「第二部」、震災復興に伴う発掘調査を紹介する「第三部」、県内の復興調査を紹介する「地域展」の四部から構成されています。

展示資料の総数は約950点にのぼり、今後、日本列島での20年間の考古資料のダイジェスト資料が一堂に会する展示会の開催は難しいもので、この機会にご覧になって頂きたいと願います。

地域展

復興と創造のために一宮城の復興 発掘調査

5月20日(火)~7月13日(日)

※地域展のみ常設展示の料金でご覧になります。

■ 主な遺跡 ■

- 山元町熊の作遺跡
- 岩沼市高大瀬遺跡
- 気仙沼市台の下遺跡
- 山元町箕首城跡
- 石巻市中沢遺跡
- ほか

お車をご利用の方

- 仙台東部道路「仙台北IC」から約10分
- 仙台北部道路「利府しらかし台IC」から約15分
- 国道4号線苦竹インターから
国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
- 仙台港フェリーターミナルから15分
- 無料駐車場(191台・大型バス10台)

JR線をご利用の方

- JR東北本線(仙台駅から14分)「国府多賀城駅」隣り
- JR 仙石線「多賀城駅」下車
徒歩25分またはタクシー約10分

お問い合わせ
専用番号

TEL 022-368-0106



この印刷物は再生紙を使用しています。

発掘された日本列島展20周年記念



— 発掘された日本列島2014 —

日本発掘



東北歴史博物館

平成26年**5月31日(土)~7月9日(水)**
宮城県多賀城市高崎一丁目22-1 022-368-0106

東京都江戸東京博物館

平成26年**7月26日(土)~9月15日(月・祝)**
東京都墨田区横網1-4-1 03-3626-9974

堺市博物館

平成26年**9月27日(土)~11月3日(月・祝)**
大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁大仙公園内 072-245-6201

長野市立博物館

平成26年**11月15日(土)~12月21日(日)**
長野県長野市小島田町1414番地 026-284-9011

九州国立博物館

平成27年**1月1日(木・祝)~3月1日(日)**
福岡県太宰府市石坂4-7-2 050-5542-8600

第1部 日本発掘

「発掘された日本列島展」20年の歴史と優品の数々
この20年で国宝・重要文化財になった考古資料
この20年で特別史跡・史跡になった遺跡

第2部 新発見考古速報



第3部

復興のための文化力

— 東日本大震災の復興と埋蔵文化財の保護 —



主催：文化庁 東北歴史博物館 東京都江戸東京博物館 堺市博物館 長野市立博物館 九州国立博物館
協力：株式会社朝日新聞社 株式会社朝日新聞出版 株式会社NHKプロモーション 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会
全国埋蔵文化財法人連絡協議会 公益財団法人元興寺文化財研究所
後援：全国史跡整備市町村協議会



発掘現場から
文化力
POWER OF CULTURE

日本発掘

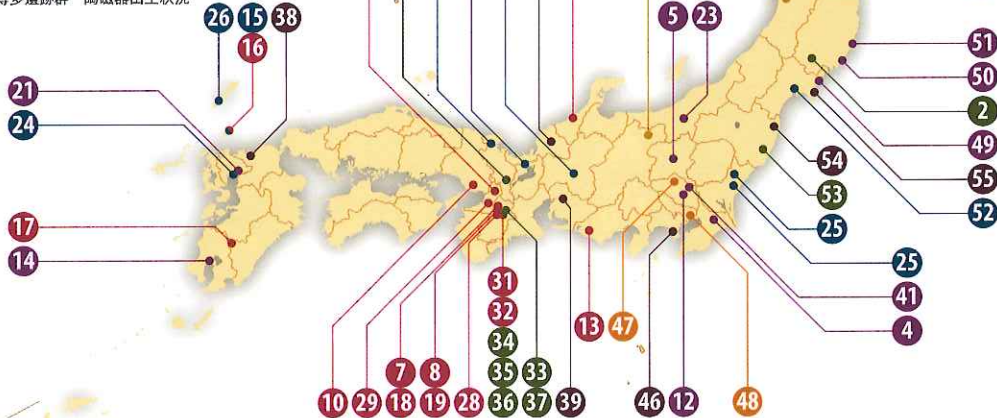
— 発掘された日本列島2014 —



38 博多遺跡群 陶磁器出土状況



31 特別史跡 キトラ古墳 玄武



20 史跡 白滝遺跡群 石槍



37 特別史跡 藤原宮跡 地鎮具



28 鴨部波1号墳 方形板蓋短甲・漆塗靴・三角線神獸鏡出土状況



42 東町田遺跡 線刻絵画土器

第1部 日本発掘

平成7年から始まりました「発掘された日本列島」展は、今年で20周年を迎えます。そのため、「発掘された日本列島2014」展では、**日本発掘**と称し開催ごとに異なる重要文化財等を展示するとともに、日本を代表する発掘調査成果を展示し、全国を巡回します。

重要文化財等

- 東北歴史博物館**
 - 1 二枚櫓(2)遺跡 (青森県むつ市) 縄文時代晩期 約3,000年前
 - 2 史跡 柳之御所・平泉遺跡群 (岩手県平泉町) 平安時代 約800年前
- 東京都江戸東京博物館**
 - 3 日向林B遺跡 (長野県信濃町) 後期旧石器時代 約35,000年前
 - 4 南羽鳥中岫第1遺跡 (千葉県成田市) 縄文時代前期 5,500年前
 - 5 道訓前遺跡 (群馬県渋川市) 縄文時代中期 4,500年前
 - 6 風張1遺跡 (青森県八戸市) 縄文時代晩期 約3,000年前
 - 7 史跡 佐味田宝塚古墳 (奈良県河合町) 古墳時代前期 1,700年前
 - 8 新山古墳 (奈良県広陵町) 古墳時代前期 1,700年前
- 堺市博物館**
 - 9 大風呂南一号墓 (京都府与謝野町) 弥生時代後期 1,800年前
 - 10 史跡 西求女塚古墳 (兵庫県神戸市) 古墳時代前期 1,700年前
 - 11 特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡 (福井県福井市) 室町時代 約450年前
- 長野市立博物館**
 - 12 後谷遺跡 (埼玉県浦川市) 縄文時代後期 約3,000年前
 - 13 明ヶ島古墳群 (静岡県静岡市) 古墳時代中期 約1,600年前
- 九州国立博物館**
 - 14 史跡 上野原遺跡 (鹿児島県霧島市) 縄文時代早期 約7,500年前
 - 15 特別史跡 原ノ辻遺跡 (長崎県杵岐市) 弥生時代後期 1,800年前
 - 16 史跡 笹塚古墳 (長崎県杵岐市) 古墳時代後期 1,500年前
 - 17 島内地下式横穴墓群 (高知県えびの市) 古墳時代中期 1,600年前
 - 18 史跡 佐味田宝塚古墳 (奈良県河合町) 古墳時代前期 1,700年前
 - 19 新山古墳 (奈良県広陵町) 古墳時代前期 1,700年前

通年巡回展示

- 旧石器時代**
 - 20 史跡 白滝遺跡群 (北海道遠軽町) 後期旧石器時代 約15,000年前 日本最大の黒曜石の山 石器13トン!
- 縄文時代**
 - 21 東名遺跡 (佐賀県佐賀市) 縄文時代早期 約7,000年前 日本最古のドングリ 貯蔵穴と編かご
 - 22 特別史跡 三内丸山遺跡 (青森県青森市) 縄文時代前期 約5,500年前 縄文文化のイメージ変えた発掘成果
 - 23 野首遺跡 (新潟県十日町市) 縄文時代中期 約4,500年前 縄文造形の極致 火焰土器の美
- 弥生時代**
 - 24 特別史跡 吉野ヶ里遺跡 (佐賀県吉野ヶ里町) 弥生時代中期 約2,000年前 弥生文化のイメージ変えた発掘成果
 - 25 泉坂下遺跡・小野天神前遺跡・海後遺跡 (茨城県常陸大宮市・那珂市) 眠りから目覚めたおさの顔 弥生時代中期 約2,000年前
 - 26 黒島遺跡 (長崎県対馬市) 弥生時代中期 約2,000年前 大きな銅矛 九州のまつり
 - 27 銅鐸出土遺跡 (近畿地方中心) 弥生時代中期 約2,000年前 立派な銅鐸 近畿のまつり
- 古墳時代**
 - 28 鴨部波1号墳 (奈良県御所市) 古墳時代前期 約1,700年前 弓矢もて守るは卑弥呼の鏡なり
 - 29 応神天皇陵古墳 (大阪府羽曳野市) 古墳時代中期 約1,600年前 大王をあの世へ導く水鳥たち
 - 30 史跡 今城塚古墳 (大阪府高槻市) 古墳時代後期 約1,500年前 大王の權威を示せ 巫女だ!力士だ!家臣だ!
 - 31 特別史跡 キトラ古墳 (奈良県明日香村) 飛鳥時代 約1,300年前 今よみがえる四神の姿
 - 32 特別史跡 高松塚古墳 (奈良県明日香村) 飛鳥時代 約1,300年前 飛鳥美人は何を見た?
- 古代**
 - 33 特別史跡 山田寺跡 (奈良県桜井市) 古代 約1,400年前 古代寺院 堂々たる瓦
 - 34 石神遺跡 (奈良県明日香村) 古代 約1,400年前 日本最初のカレンダー
 - 35 史跡 川原寺跡 (奈良県明日香村) 古代 約1,400年前 粘土で作られた 仏の姿
 - 36 川原寺裏山遺跡 (奈良県明日香村) 古代 約1,400年前 見事な埴仏 古代人の祈り
 - 37 特別史跡 藤原宮跡 (奈良県橿原市) 古代 約1,300年前 宮殿の平穩 神への祈り
- 中世**
 - 38 博多遺跡群 (福岡県福岡市) 室町時代 約500年前 国際貿易都市 博多の財力
 - 39 瀬戸古窯跡群 (愛知県瀬戸市) 平安~江戸時代 約900~150年前 現代につづく古代の伝統

第2部 新発見考古速報

日本列島では毎年8000件近い発掘調査が行われています。このうち、近年発掘された遺跡や、成果がまとまった注目の遺跡を全国巡回します。

- 旧石器時代**
 - 40 地蔵田遺跡 (秋田県秋田市) 後期旧石器時代 約35,000年前 石のおもて環になって集まれ!
- 縄文時代**
 - 41 長竹遺跡 (埼玉県加須市) 縄文時代後晩期 約3,000年前 直径120cmのドーナツ形に盛り上がる縄文のムラ
- 弥生時代**
 - 42 東町田遺跡・荒尾南遺跡 (岐阜県大垣市) 弥生時代中期 約2,000年前 土器に描かれた弥生の世界
 - 43 上御殿遺跡 (滋賀県高島市) 弥生時代中期 約2,000年前 銅刻の鏝型 上下1セットで発見!
- 古墳時代**
 - 44 史跡 能美古墳群 (石川県能美市) 古墳時代中期 約1,600年前 須恵器に最古の刻書文字
- 古代**
 - 45 平安京右京三条一坊六町 (京都府京都市) 平安時代 約1,000年前 最古の平仮名大発見!
- 中世**
 - 46 下馬周辺遺跡 (神奈川県鎌倉市) 鎌倉時代 約700年前 鎌倉武者の鎧一領大発見!
- 近世**
 - 47 鉄砲山古墳 忍濱角場遺構 (埼玉県行田市) 江戸時代 約150年前 古墳に造られた砲術演習場
 - 48 品川台場(第五)遺跡 (東京都港区) 江戸時代 約150年前 黒船来たよ 大君の都 江戸守れ

第3部 復興のための文化力

東日本大震災からの復興と、埋蔵文化財保護の両立を図るため若手・宮城・福島等の3県では、全国からの支援を受けて、発掘調査が急ピッチで進められています。多くの皆さんに東北地方の豊かな歴史にふれていただければと思います。

- 東日本大震災の復興と埋蔵文化財の保護**
 - 49 波怒祭館遺跡 (宮城県気仙沼市) 縄文時代前期 約5,500年前
 - 50 堂の前貝塚 (岩手県陸前高田市) 縄文時代中期 約4,500年前
 - 51 畠中遺跡 (岩手県山田町) 縄文時代後期 約3,500年前
 - 52 荒井広瀬遺跡 (宮城県仙台市) 弥生時代中期 約2,000年前
 - 53 桜田IV遺跡 (福島県広野町) 奈良時代 約1,300年前
 - 54 南狼沢A遺跡 (福島県新地町) 鎌倉時代 約800年前
 - 55 新井田館跡 (宮城県南三陸町) 室町時代 約500年前